

# 資 料 編

## 目 次

資料 1	交野市の概要	資料- 1
資料 2	将来予測と減量化目標の設定	資料- 5
資料 3	アンケート調査	資料-29
資料 4	ごみ組成調査	資料-54
資料 5	環境審議会委員名簿	資料-63
資料 6	諮問書	資料-64



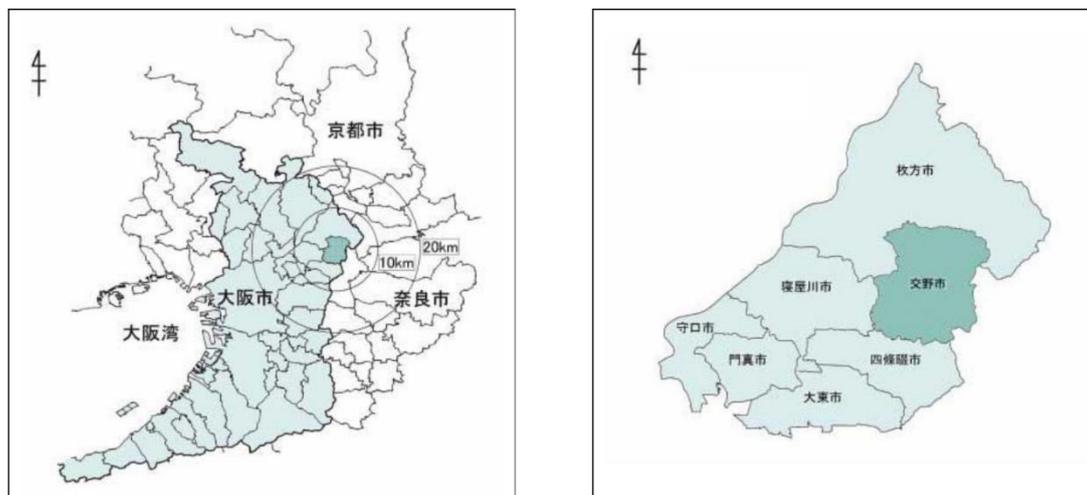
## 資料1 交野市の概要

### 1 位置・自然

本市は、図 1-1 に示すように大阪府の北東部、大阪と京都のほぼ中央に位置し、西は寝屋川市、南は四條畷市、北は枚方市に接しており、大阪市、京都市及び奈良市までの距離がいずれも概ね 20km の距離にある。

市域は、東西約 5.4km、南北約 6.8km の方形をしており、面積は 25.55 km<sup>2</sup> である。市域の約半分は山地で占められており、その中には金剛生駒紀泉国定公園がある。山地部は、風化の進んだ花崗岩からなり、多くの溪流が分布し、平地部は洪積層及び沖積層からなっている。河川は、市の中心部を縦走し枚方で淀川に合流する一級河川の天野川や、市の南西部を傍示川（寝屋川水系）が流れている。

気候は、表 1-1 に示すように平均気温が 15.8～16.9℃ と温暖で、年間降水量は約 1,500mm 前後と比較的少ない地域となっている。



出典：交野市都市計画マスタープラン

図 1-1 本市の位置図

表 1-1 気温及び降水量

年次		平成26	平成27	平成28	平成29	平成30	平均値	最大値	最小値
気温(℃)	日平均	15.9	16.4	16.9	15.8	16.6	16.3	16.9	15.8
	最高	38.0	37.8	37.7	37.4	38.9	38.0	38.9	37.4
	最低	-2.7	-2.0	-4.3	-3.1	-4.4	-3.3	-2.0	-4.4
降水量(mm/年)		1,337.5	1,683.5	1,529.0	1,435.5	1,649.0	1,526.9	1,683.5	1,337.5

資料：気象庁(枚方観測所)

## 2 産業の動向

本市の事業所数及び従業者数とその構成比は表 1-2、図 1-2 のとおりである。

本市の事業所数は、平成 21 年から平成 26 年にかけて横ばい状態で推移していると見られ、事業系一般廃棄物にかかわる卸売業・小売業が最も多く、次いで医療・福祉、建設業、宿泊業・飲食サービス業が多い構造となっている。従業者数では、卸売業・小売業が最も多く、また医療・福祉業も増えていることがわかる。

表 1-2 事業所数及び従業者数（産業大分類別事業所）

産業分類	事業所数(事業所)		従業者数(人)	
	平成21年	平成26年	平成21年	平成26年
総数	2,115	2,115	20,940	19,428
農林漁業	3	3	14	20
鉱業・採石業・砂利採取業	—	—	—	—
建設業	218	212	1,358	1,081
製造業	196	189	3,644	3,192
電気・ガス・熱供給・水道業	1	3	40	47
情報通信業	20	14	58	20
運輸業・郵便業	35	40	1,013	766
卸売業・小売業	488	461	4,089	3,821
金融業・保険業	26	25	311	252
不動産業・物品賃貸業	153	136	448	405
学術研究・専門・技術サービス業	86	97	362	361
宿泊業・飲食サービス業	207	209	1,513	1,371
生活関連サービス業・娯楽業	204	190	1,199	983
教育・学習支援業	156	152	2,556	1,689
医療・福祉	180	244	2,939	3,700
複合サービス事業	11	11	114	236
サービス業(他に分類されないもの)	123	120	734	680
公務(他に分類されるものを除く)	8	9	548	804

資料：経済センサス基礎調査（調査日：各年7月1日）  
5年ごとの調査であるため、平成26年が最新となる

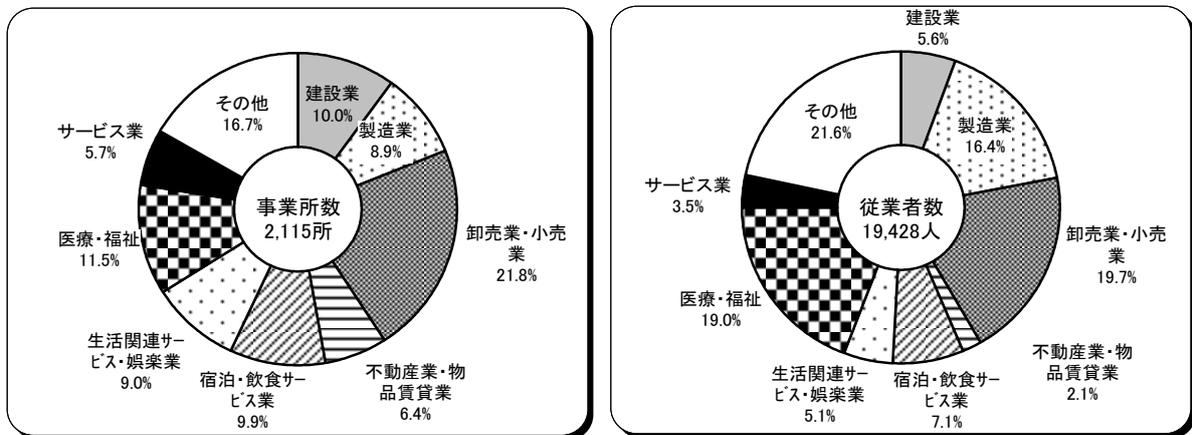


図 1-2 産業大分類別事業所数及び従業者数の構成比（平成 26 年）

### 3 土地利用状況

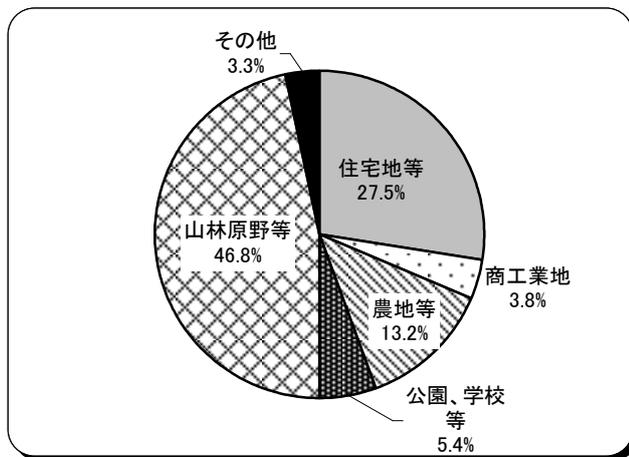
本市の土地利用状況は表 1-3、都市計画区域は表 1-4 に示すとおりである。

本市の土地利用は、山林原野等が市域の約半分を占めており、平地部では半分以上が市街地化（住宅地等、商工業地）されている。

また、本市は市全域（2,555ha）が都市計画区域に定められており、市街化区域が 920ha、市街化調整区域は 1,635ha である。用途地域が定められているのは 930.8ha で、その内訳は住居系が 834.2ha（89.6%）、商業系が 15.7ha（1.7%）、工業系が 80.9ha（8.7%）となっている。

表 1-3 土地利用状況（平成 27 年度）

土地利用	面積 (ha)	構成比
住宅地等	699.9	27.5%
商工業地	97.9	3.8%
農地等	337.7	13.2%
公園、学校等	137.2	5.4%
山林原野等	1,192.4	46.8%
その他	84.9	3.3%
合計	2,550.1	100.0%



注) 住宅地等：一般市街地、集落地、官公署  
 商工業地：商業業務地、工場地  
 農地等：田、畑、休耕地  
 公園、学校等：普通緑地  
 山林原野等：山林、原野、牧野、低湿地、荒無地  
 その他：水面、公共施設、道路、鉄軌道敷、その他空地

資料：土地現況調査（平成27年度）

表 1-4 都市計画区域、市街化区域、用途地域等の決定状況

区 分	面積 (ha)	構成比
都市計画区域	2,555	100.0%
市街化区域	920	36.0%
市街化調整区域	1,635	64.0%
用途地域	930.8	100.0%
第一種低層住居専用地域	155.5	16.6%
第一種中高層住居専用地域	488.0	52.4%
第二種中高層住居専用地域	89.9	9.7%
第一種住居地域	91.0	9.8%
第二種住居地域	9.8	1.1%
近隣商業地域	15.7	1.7%
準工業地域	37.0	4.0%
工業地域	43.9	4.7%

注) 平成29年3月末現在

資料：平成30年度 大阪府統計年鑑（大阪府）

## 4 総合計画等

### (1) 総合計画

第四次交野市総合計画基本構想（平成 22 年）では、“かたの”の基本的なものさしとなる基本理念や暮らしの夢を定めており、その概要は以下のとおりである。

#### ■第四次交野市総合計画基本構想の概要

- ◇ 目標年次：令和 4 年度（平成 34 年度）
- ◇ 基本理念：あじわい・なりわい・にぎわい “みんな活” でわいわいと  
“かたのサイズ” なまち暮らし
- ◇ 暮らしの夢：
  - 1) 心も体もいきいきと、思いやり、心（情）の通う暮らし
  - 2) 福祉が充実し、「お互い様」と助け合える人の「わ(和・輪)」に支えられた暮らし
  - 3) 子どもや若者が、それぞれの個性を育み、のびのびと遊び、学ぶ暮らし
  - 4) 多様な人とふれあい、文化と人権意識を育む明るく楽しい暮らし
  - 5) 地域の歴史や自然と親しみ、もてなしの心をもった暮らし
  - 6) 身近な緑を愛し、守り、育て、自然との共生を楽しむ暮らし
  - 7) 農地・食文化を大切にした地産地消の暮らし
  - 8) 第二京阪道路をいかした、にぎわいのある暮らし
  - 9) 地球環境に思いをはせ、我がまちは我が手で守る暮らし
  - 10) まちが働く舞台となり、みんながつながる元気な暮らし
  - 11) つながりを大切に、まちの職員がほどよく支える暮らし

### (2) 環境基本計画

交野市環境基本計画（平成 30 年 3 月改訂版）では、目指すべき将来像（ビジョン）を実現するための具体的プロジェクトを定めており、その概要は以下のとおりである。

#### ■交野市環境基本計画の概要

- ◇ 目標年次：令和 3 年度（平成 33 年度）
- ◇ 総合ビジョン：市民一人ひとりが輝く「みんなのかたの」は美しく・やさしく・たのしい  
環境のまち
- ◇ 具体的プロジェクト：
  - 1) 自然環境分野：人々が憩う豊かな自然がある
  - 2) エコ生活分野：魅力のある交野エコ良人の活躍するまち
  - 3) エネルギー分野：自然の恵みを取り入れ、かしこくエネルギーを使うまち
  - 4) まちづくり分野：住み続けたい環境へ・やさしいまち交野

## 資料2 将来予測と減量化目標の設定

### 1 行政区域内人口の予測

#### (1) 人口動態

人口及び世帯数の推移を図 2-1 に、平成 30 年度の年齢別人口は図 2-2 のとおりである。

本市の人口は過去 10 年間で減少しているものの、世帯数は増加しており、平成 30 年度では 1 世帯当たりの人数は 2.39 人/世帯となっている。

また、平成 30 年度の年齢別人口は、男女とも 45～49 歳の人口が最も多く、年齢 3 区分別人口比率では 14 歳以下の年少人口が 13.1%、15～64 歳の生産年齢人口が 59.3%、65 歳以上の老年人口が 27.6%となり、高齢化が進んでいることがうかがわれる。

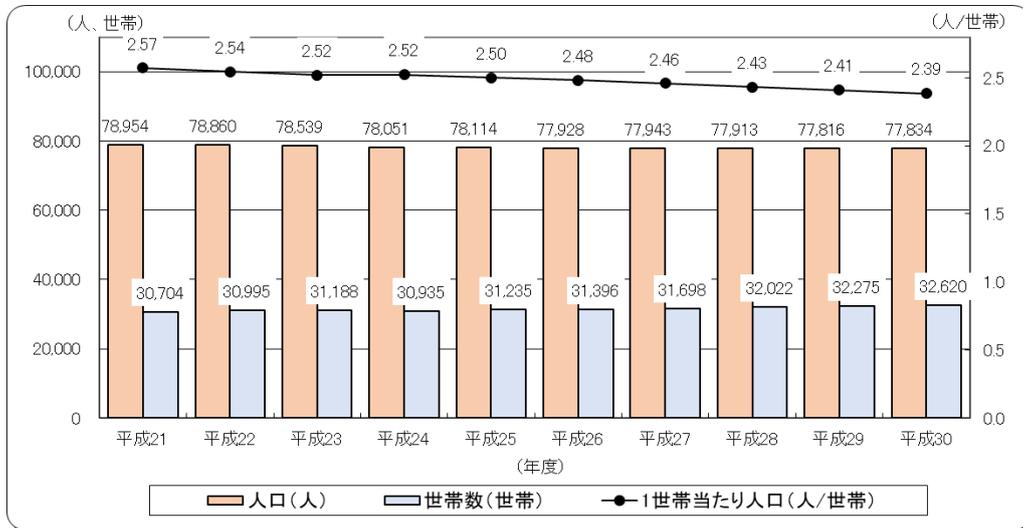
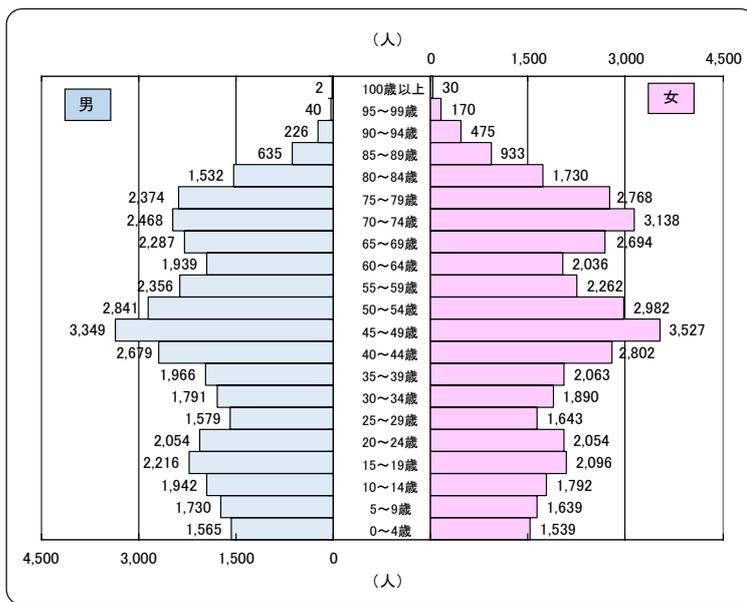


図 2-1 人口及び世帯数の推移



年齢区分	男	女	計
0～14歳	5,237	4,970	10,207
	13.9%	12.3%	13.1%
15～64歳	22,770	23,355	46,125
	60.6%	58.0%	59.3%
65歳以上	9,564	11,938	21,502
	25.5%	29.7%	27.6%
合計	37,571	40,263	77,834
	100.0%	100.0%	100.0%

平成31年3月31日現在(住民基本台帳人口+外国人登録人口)  
図 2-2 男女別年齢別人口 (平成 30 年度)

## (2) 将来人口

将来人口については、「交野市人口ビジョン」（平成28年1月）における目指すべき将来展望人口を基に予測し、これに開発計画による市外からの転入人口を加えたものを将来人口とする。

人口ビジョンでは、平成22年までの国勢調査人口を基に5年おきの推計及び展望を示しており、本計画では年度末人口（外国人を含む）を基準とし、各5年間の間については直線補間による予測とする。

平成30年度末の実績値77,834人と人口ビジョンから算出した平成30年推計値76,495人との1,339人の差があることから、人口ビジョンの令和2,7,12年の将来展望人口の増減率により補完した将来人口（年度末）を予測基礎とし、開発計画として令和2年度から令和8年度にかけて星田北エリアにおいて、表2-2に示すように689戸の住居（戸建、マンション）が順次建設されることから、市外からの転入率を54%として転入人口を加える。

人口ビジョンによる予測結果を表2-1及び図2-3に、開発計画を考慮した行政区域内人口の予測結果を表2-3及び図2-4に示す。

表2-1 人口ビジョンによる行政区域内人口の予測

単位:人

項目\年度	実績					予測			
	平成22	平成27	平成28	平成29	平成30	令和元	令和2	令和6	令和11
人口ビジョン (線形補完値)	77,686	77,033	(76,854)	(76,675)	(76,495)	(76,316)	76,137	74,969	73,209
人口ビジョンを基 にした将来人口	78,860	77,943	77,913	77,816	77,834	77,652	77,470	76,282	74,492
開発計画を考慮 した将来人口	78,860	77,943	77,913	77,816	77,834	77,652	77,535	76,992	75,383

注)人口ビジョン:交野市人口ビジョン(平成28年1月) ※H22は国勢調査人口、H27以降は推計値及び線形補完値  
人口ビジョンを基にした将来人口は、平成30年度からの人口ビジョンの増減率を基に設定

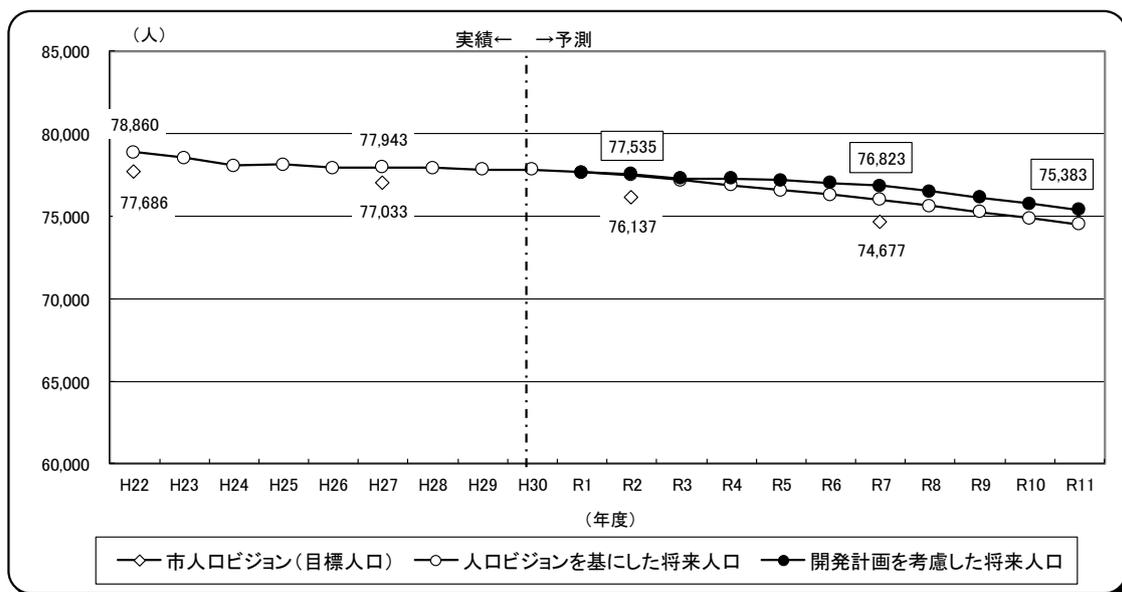


図2-3 人口ビジョンによる行政区域内人口の推移

表 2-2 星田北エリアの地区計画による転入人口

単位：人 令和元年 11月現在

年 度	令和2	令和3	令和4	令和5	令和6	令和7	令和8	合計	備 考
建設戸数(戸)	50	20	250	140	89	100	40	689	①
入居人数	120	48	598	335	213	239	96	1,649	②:①×2.39人/戸
内転入者数	65	26	323	181	115	129	52	891	③:②×54%
転入者累計	65	91	414	595	710	839	891		④:③の累計

注) 2.39人/戸:市全体の平成30年度実績  
54%:市外からの転入率(市内転居率41%、その他5%)

表 2-3 開発計画を考慮した行政区域内人口の予測結果

単位：人

年度	平成21	平成22	平成23	平成24	平成25	平成26	平成27	平成28	平成29	平成30
実績値	78,954	78,860	78,539	78,051	78,114	77,928	77,943	77,913	77,816	77,834

単位：人

年度	令和1	令和2	令和3	令和4	令和5	令和6	令和7	令和8	令和9	令和10	令和11
人口ビジョン	77,652	77,470	77,173	76,876	76,579	76,282	75,984	75,611	75,238	74,865	74,492
星田北エリア		65	91	414	595	710	839	891	891	891	891
将来人口	77,652	77,535	77,264	77,290	77,174	76,992	76,823	76,502	76,129	75,756	75,383

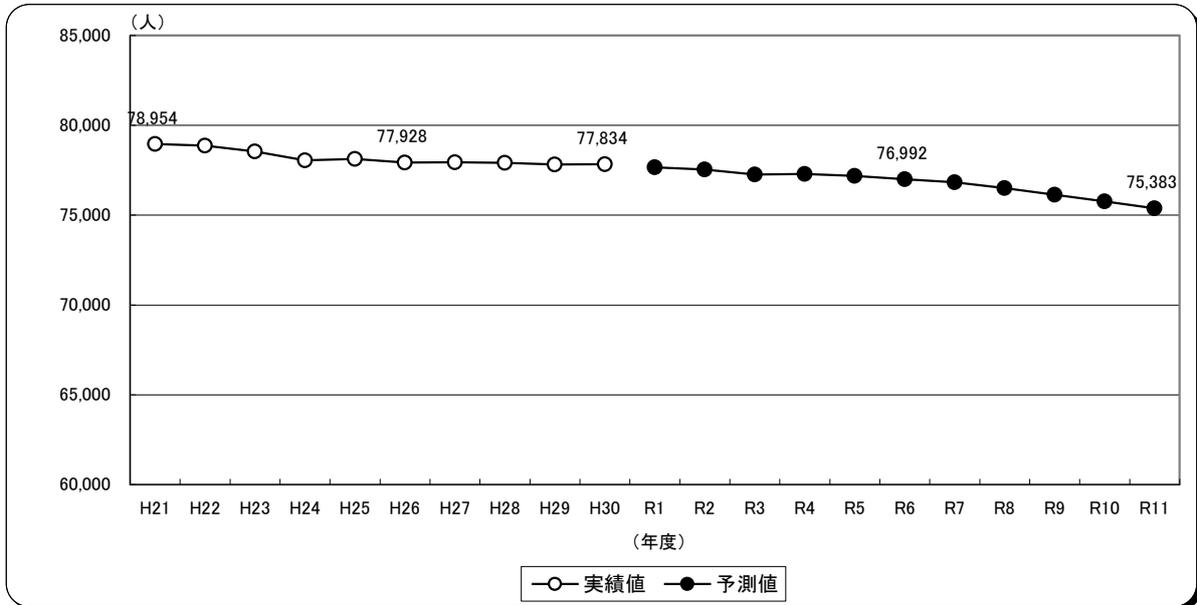


図 2-4 行政区域内人口の推移

## 2 ごみ発生量等の予測

### (1) 予測方法

現状推移によるごみ発生量及び処理量を予測する。

ごみ発生量は、家庭系ごみ（集団回収量を含む）と事業系ごみに分け、家庭系ごみは1人1日あたりの排出量（g/人・日、以下「原単位」という。）に換算し、事業系ごみは年間排出量（t/年）により予測する。なお、乙辺し渣量（家庭系ごみ）については、年間排出量（t/年）により予測する。

予測は、表 2-4 に示す推計式を用いて過去の実績をできるだけ良好に再現し、将来におけるトレンドの動きが論理的矛盾をきたさないこと等を考慮し、最も妥当と判断されるものを採用する。なお、用いる推計式は、「ごみ処理施設構造指針解説」（昭和 62 年 厚生省監修）に示された 5 式である。

予測に用いる実績値は、過去 5 年間（平成 26～30 年度）を基本とするが、平成 29 年度は年度中に燃やすごみや粗大ごみ類については排出区分の変更と粗大ごみの一部有料化を実施したため排出量が年度中に変動しており、また缶・ビンについては四條畷市と共同処理となり、処理量が按分となったことから平成 28 年度以前の 5 年間（平成 24～28 年度）の実績値を用いた予測を行う。なお、予測に用いる実績値は表 2-5 に示すとおりである。

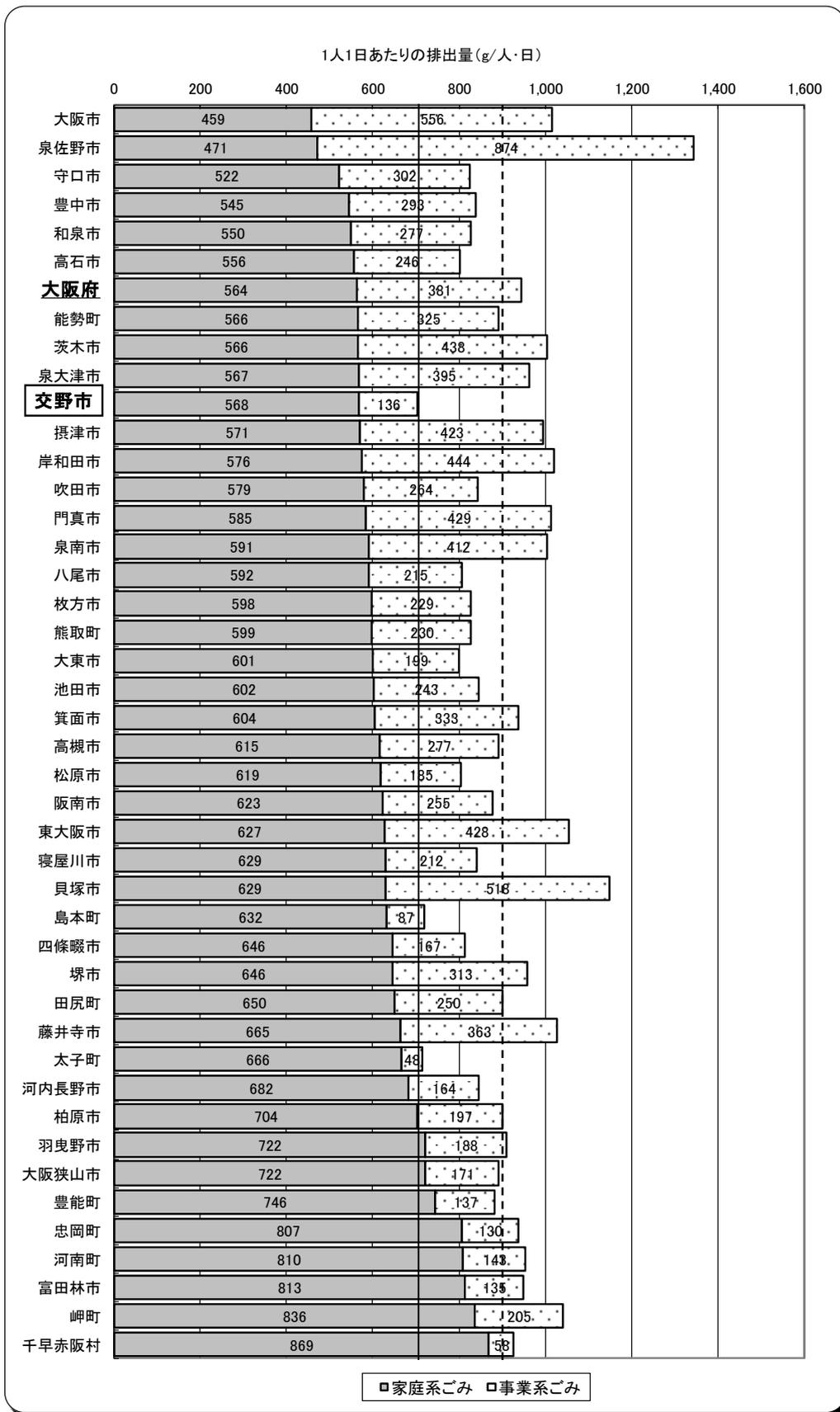
また、図 2-5 は環境省調査による平成 29 年度の大阪府内市町村別 1 人 1 日あたりのごみ発生量の状況である。

表 2-4 予測に用いる推計式

① 1 次 傾 向 線	$Y = a \cdot X + b$	Y : 原単位、ごみ量等 X : 時系列 a、b、c、K : 係数
② べ き 曲 線	$Y = a \cdot X^b$	
③ 2 次 傾 向 線	$Y = a \cdot X^2 + b \cdot X + c$	
④ 1 次 指 数 曲 線	$Y = a \cdot b^X$	
⑤ ロジスティック曲線	$Y = K / \{ 1 + a \cdot \text{EXP}(-b \cdot X) \}$	

表 2-5 予測に用いる実績値

項目\年度		平成24	平成25	平成26	平成27	平成28	平成29	平成30	備考
行政区域内人口	(人)	78,051	78,114	77,928	77,943	77,913	77,816	77,834	(1) 年度未現在
年間日数	(日/年)	365	365	365	366	365	365	365	(2)
家庭系ごみ	(t/年)	16,944	17,130	16,866	16,993	16,783	16,127	15,892	(3) (5)+(7)+(45)+(47)+(53)+(55)
	(g/人・日)	594.8	600.8	593.0	595.7	590.2	567.8	559.4	(4) (3)÷(1)÷(2)×10 <sup>6</sup>
燃やすごみ (~H28:普通ごみ)	(t/年)	11,212	11,062	11,085	11,064	10,953	11,187	11,723	(5)
	(g/人・日)	393.6	388.0	389.7	387.9	385.1	393.9	412.6	(6) (5)÷(1)÷(2)×10 <sup>6</sup>
資源ごみ	(t/年)	2,272	2,221	2,169	2,226	2,211	1,658	1,997	(7) (9)+(25)+(33)+(35)
	(g/人・日)	79.7	77.9	76.2	78.0	77.8	58.4	70.3	(8) (7)÷(1)÷(2)×10 <sup>6</sup>
缶・びん・乾電池	(t/年)	741	719	690	701	676	184	605	(9) (11)+(13)+(15)+(17)+(19)+(21)+(23)
	(g/人・日)	26.0	25.2	24.2	24.6	23.8	6.5	21.3	(10) (9)÷(1)÷(2)×10 <sup>6</sup>
スチール缶	(t/年)	105	104	94	91	87	36	64	(11)
	(g/人・日)	3.7	3.6	3.3	3.2	3.1	1.3	2.2	(12) (11)÷(1)÷(2)×10 <sup>6</sup>
アルミ缶	(t/年)	56	69	67	65	64	30	34	(13)
	(g/人・日)	2.0	2.4	2.3	2.3	2.2	1.1	1.2	(14) (13)÷(1)÷(2)×10 <sup>6</sup>
ガラスビン(無色)	(t/年)	289	279	271	266	253	40	124	(15)
	(g/人・日)	10.1	9.8	9.5	9.3	8.9	1.4	4.4	(16) (15)÷(1)÷(2)×10 <sup>6</sup>
ガラスビン(茶色)	(t/年)	156	146	137	142	133	53	93	(17)
	(g/人・日)	5.5	5.1	4.8	5.0	4.7	1.9	3.3	(18) (17)÷(1)÷(2)×10 <sup>6</sup>
ガラスビン(その他)	(t/年)	88	80	87	83	82	13	71	(19)
	(g/人・日)	3.1	2.8	3.0	2.9	2.9	0.4	2.5	(20) (19)÷(1)÷(2)×10 <sup>6</sup>
乾電池	(t/年)	20	14	8	26	25	12	16	(21)
	(g/人・日)	0.70	0.48	0.27	0.92	0.86	0.41	0.58	(22) (21)÷(1)÷(2)×10 <sup>6</sup>
可燃残渣	(t/年)	27	27	26	28	32	0	203	(23)
	(g/人・日)	0.9	1.0	0.9	1.0	1.1	0.0	7.1	(24) (23)÷(1)÷(2)×10 <sup>6</sup>
廃プラ	(t/年)	1,108	1,104	1,096	1,105	1,110	1,089	1,021	(25) (27)+(29)+(31)
	(g/人・日)	38.9	38.7	38.5	38.7	39.0	38.3	35.9	(26) (25)÷(1)÷(2)×10 <sup>6</sup>
ペットボトル	(t/年)	71	70	71	81	81	79	71	(27)
	(g/人・日)	2.5	2.5	2.5	2.9	2.9	2.8	2.5	(28) (27)÷(1)÷(2)×10 <sup>6</sup>
プラスチック製容器 包装	(t/年)	1,021	1,017	995	1,001	1,000	982	897	(29)
	(g/人・日)	35.8	35.7	35.0	35.1	35.2	34.6	31.6	(30) (29)÷(1)÷(2)×10 <sup>6</sup>
可燃残渣	(t/年)	16	17	30	23	29	28	53	(31)
	(g/人・日)	0.6	0.6	1.0	0.8	1.0	1.0	1.9	(32) (31)÷(1)÷(2)×10 <sup>6</sup>
新聞・雑誌・ダンボール等	(t/年)	396	373	367	397	399	364	334	(33)
	(g/人・日)	13.9	13.1	12.9	13.9	14.0	12.8	11.8	(34) (33)÷(1)÷(2)×10 <sup>6</sup>
拠点回収	(t/年)	27	25	16	23	26	21	37	(35) (37)+(39)+(41)+(43)
	(g/人・日)	0.9	0.9	0.6	0.8	0.9	0.7	1.3	(36) (35)÷(1)÷(2)×10 <sup>6</sup>
牛乳パック	(t/年)	18	16	15	14	13	11	9	(37)
	(g/人・日)	0.62	0.58	0.52	0.50	0.45	0.38	0.33	(38) (37)÷(1)÷(2)×10 <sup>6</sup>
ダンボール	(t/年)	2	2	1	1	1	0.4	0.1	(39)
	(g/人・日)	0.062	0.057	0.040	0.039	0.037	0.014	0.004	(40) (39)÷(1)÷(2)×10 <sup>6</sup>
蛍光管	(t/年)	7	7	0	8	12	8	7	(41)
	(g/人・日)	0.26	0.25	0.00	0.29	0.43	0.29	0.25	(42) (41)÷(1)÷(2)×10 <sup>6</sup>
小型家電	(t/年)						2	20	(43)
	(g/人・日)						0.05	0.71	(44) (43)÷(1)÷(2)×10 <sup>6</sup>
使い捨てライター(拠点回収)	(t/年)					0.2	0.3	0.4	(45)
	(g/人・日)					0.007	0.011	0.015	(46) (45)÷(1)÷(2)×10 <sup>6</sup>
粗大ごみ	(t/年)	2,140	2,142	2,040	2,051	2,224	1,922	997	(47) (49)+(51)
	(g/人・日)	75.1	75.1	71.7	71.9	78.2	67.7	35.1	(48) (47)÷(1)÷(2)×10 <sup>6</sup>
可燃粗大ごみ	(t/年)	1,766	1,763	1,676	1,766	1,914	1,300	770	(49)
	(g/人・日)	62.0	61.8	58.9	61.9	67.3	45.8	27.1	(50) (49)÷(1)÷(2)×10 <sup>6</sup>
不燃粗大ごみ	(t/年)	374	379	364	285	310	622	227	(51)
	(g/人・日)	13.1	13.3	12.8	10.0	10.9	21.9	8.0	(52) (51)÷(1)÷(2)×10 <sup>6</sup>
集団回収	(t/年)	1,298	1,686	1,553	1,637	1,383	1,348	1,164	(53)
	(g/人・日)	45.6	59.1	54.6	57.4	48.6	47.4	41.0	(54) (53)÷(1)÷(2)×10 <sup>6</sup>
乙辺し渣	(t/年)	22	19	19	15	12	12	11	(55)
事業系ごみ	(t/年)	4,430	4,063	3,997	4,048	3,807	3,877	3,869	(56)
ごみ発生量	(t/年)	21,374	21,193	20,863	21,041	20,590	20,004	19,761	(57) (3)+(56)



資料：一般廃棄物処理事業実態調査結果（環境省）

図 2-5 大阪府内市町村別 1 人 1 日あたりのごみ発生量の状況（平成 29 年度）

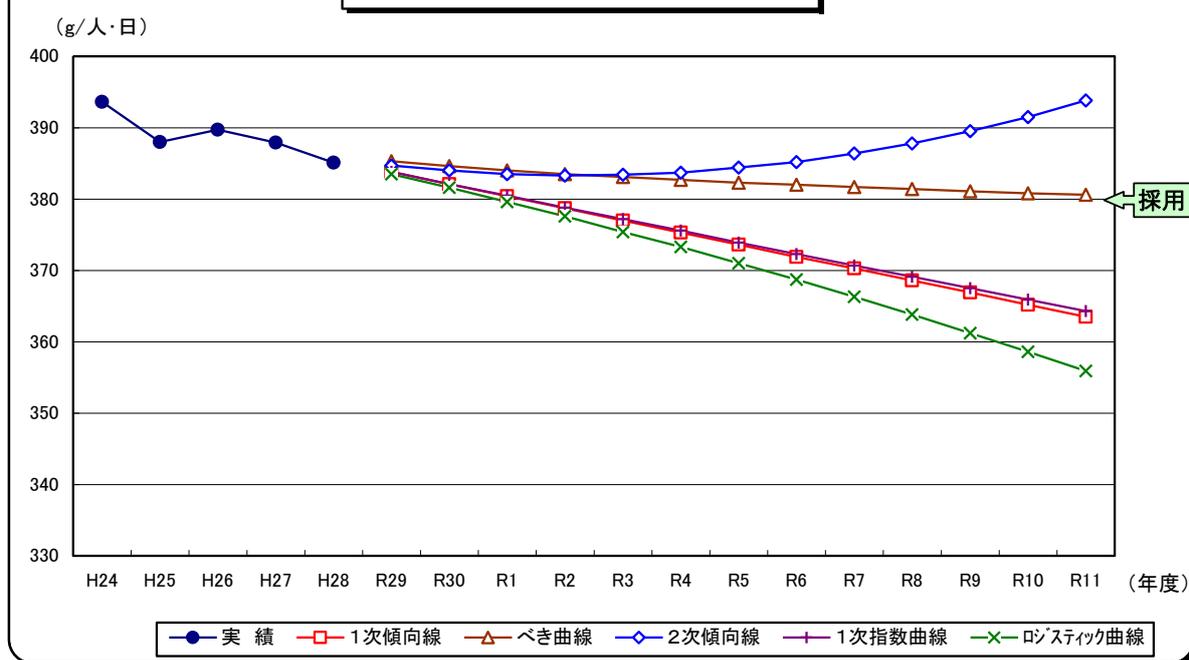
## (2) ごみ発生量の予測

家庭系ごみの各原単位及び事業系ごみの排出量を予測するにあたり採用した推計式等を表 2-6 のとおりである。

表 2-6 採用式等一覧

ごみ種別		採用式	採用根拠	
家庭系ごみ	燃やすごみ原単位 ①+②	①普通ごみ原単位 (図2-6)	べき曲線 平成28年度までの5年間の実績値を基に推計し、相関が高く現実的な減少傾向を示すべき曲線を採用する。	
		②燃やすごみ中の可燃粗大原単位	— ①の平成29,30年度推計値と燃やすごみ原単位実績値の差を、燃やすごみ中の可燃粗大として可燃粗大ごみ原単位に含めて推計し、その推計値のうち燃やすごみ中の可燃粗大原単位を、平成30年度実績比率により推計する。	
	資源ごみ	缶・びん・乾電池原単位 (図2-7)	べき曲線補正值	平成28年度までの5年間の実績値を基に推計し、相関が高く現実的な減少傾向を示すべき曲線の傾向と平成30年度実績値により補正したべき曲線補正值を採用する。 なお、品目別量については平成30年度実績比率により推計する。
		廃プラ原単位(図2-8)	ロジスティック曲線	相関が高く現実的な減少傾向を示すロジスティック曲線を採用する。 なお、品目別量については平成30年度実績比率により推計する。
		新聞・雑誌・ダンボール等原単位(図2-9)	ロジスティック曲線	相関が高く現実的な減少傾向を示すロジスティック曲線を採用する。 なお、品目別量については平成30年度実績比率により推計する。
		拠点回収	牛乳パック原単位 (図2-10)	べき曲線
	ダンボール原単位		現況固定	平成29,30年度で大きく減少しており、各推計式ともゼロ以下の推計値となるため、平成30年度実績値で一定に推移していくものとする。
	蛍光管原単位		現況固定	過去4年間の実績値であり、増減していることから、平成30年度実績値で一定に推移していくものとする。
	小型家電原単位		現況固定	過去2年間の実績値であることから、平成30年度実績値で一定に推移していくものとする。
	使い捨てライター(拠点回収)原単位		現況固定	過去3年間の実績値であり、増減していることから、平成30年度実績値で一定に推移していくものとする。
	粗大ごみ	可燃粗大ごみ原単位(図2-11)	ロジスティック曲線	平成29,30年度の燃えるごみ中の可燃粗大も含めた実績値を基に推計し、相関が高く現実的な減少傾向を示すロジスティック曲線を採用する。 また、燃えるごみ中の可燃粗大を平成30年度実績比率により推計し、それを除いたものを可燃粗大ごみ原単位とする。
不燃粗大ごみ原単位(図2-12)		べき曲線補正值	平成28年度までの5年間の実績値を基に推計し、相関が高く現実的な減少傾向を示すべき曲線の傾向と平成30年度実績値により補正したべき曲線補正值を採用する。	
集団回収原単位(図2-13)		1次指数曲線	相関が高く現実的な減少傾向を示す1次指数曲線を採用する。	
乙辺し渣(年間量)(図2-14)		べき曲線	相関が高く現実的な減少傾向を示すべき曲線を採用する。	
事業系ごみ	燃やすごみ(年間量)(図2-15)	べき曲線	相関が高く現実的な減少傾向を示すべき曲線を採用する。	

図2-6 家庭系燃やすごみ原単位の推計

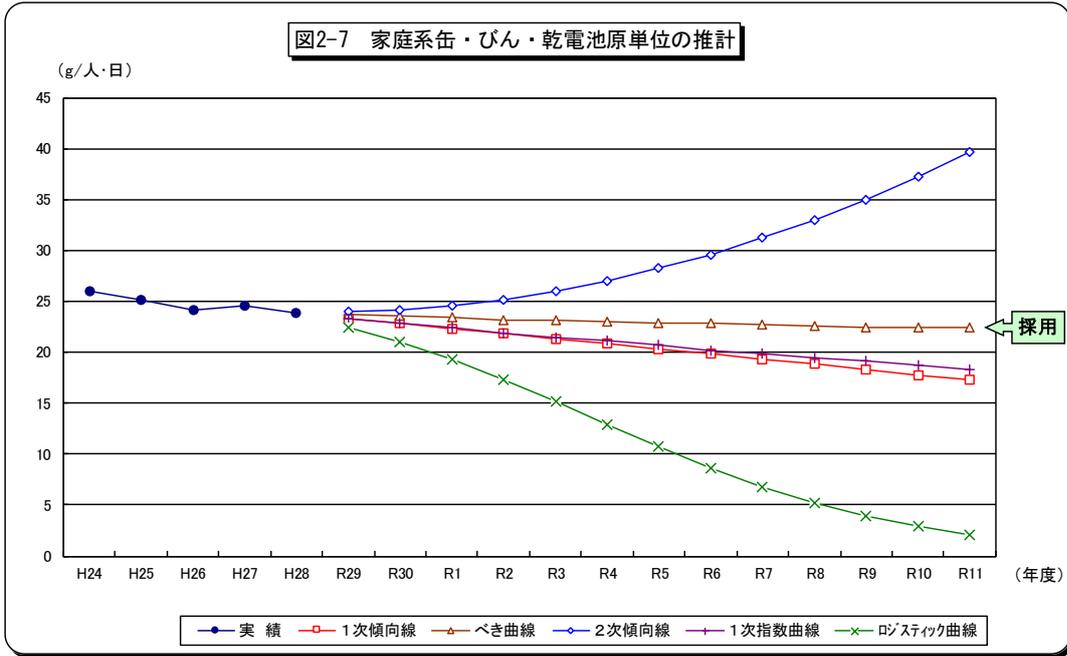


単位:g/人・日

実績			推計						
年度	X	データ	年度	X	1次傾向線	べき曲線	2次傾向線	1次指数曲線	ロジスティック曲線
H24	1	393.6	H29	6	383.8	385.3	384.7	383.8	383.5
H25	2	388.0	H30	7	382.1	384.6	384.0	382.1	381.6
H26	3	389.7	R1	8	380.4	384.0	383.5	380.5	379.6
H27	4	387.9	R2	9	378.7	383.5	383.3	378.8	377.6
H28	5	385.1	R3	10	377.0	383.1	383.4	377.2	375.4
			R4	11	375.3	382.7	383.7	375.6	373.3
平均値		388.9	R5	12	373.6	382.3	384.4	373.9	371.0
			R6	13	371.9	382.0	385.2	372.3	368.7
			R7	14	370.3	381.7	386.4	370.7	366.3
			R8	15	368.6	381.4	387.8	369.1	363.8
			R9	16	366.9	381.1	389.5	367.5	361.2
			R10	17	365.2	380.8	391.5	365.9	358.6
			R11	18	363.5	380.6	393.8	364.3	355.9
			相関係数		0.86659	0.88802	0.87049	0.86680	0.86480
			採用式			○			

各推計式

推計式 / 係数		a	b	c	K
1次傾向線	$Y=a \cdot X+b$	-1.69	393.91	-	-
べき曲線	$Y=a \cdot X^b$	392.9685993	-0.011056794	-	-
2次傾向線	$Y=a \cdot X^2 + b \cdot X + c$	0.135714286	-2.504285714	394.86	-
1次指数曲線	$Y=a \cdot b^X$	393.9275436	0.995668028	-	-
ロジスティック曲線	$Y=K / \{1+a \cdot \text{EXP}(-b \cdot X)\}$	0.099209784	-0.043260718	-	432.85



単位: g/人・日

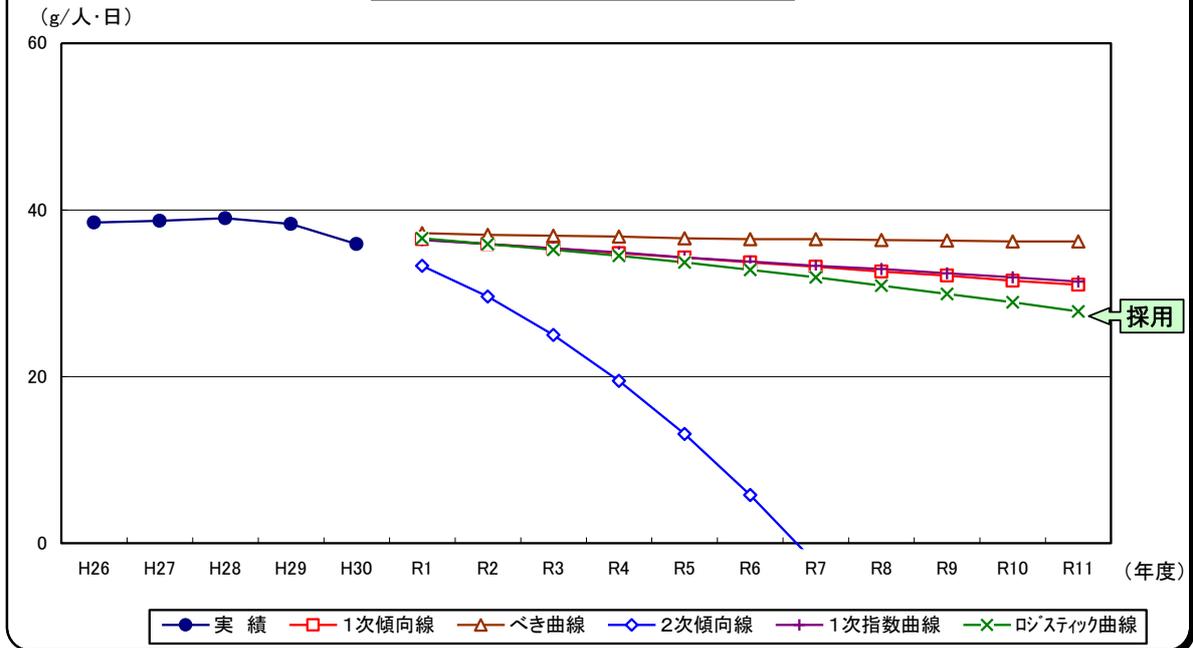
実績			推計							
年度	X	データ	年度	X	1次傾向線	べき曲線	2次傾向線	1次指数曲線	ロジスティック曲線	べき曲線補正值
H24	1	26.0	H29	6	23.3	23.7	24.0	23.3	22.4	H30実績値 21.3
H25	2	25.2	H30	7	22.8	23.5	24.2	22.8	21.0	
H26	3	24.2	R1	8	22.3	23.4	24.6	22.4	19.3	
H27	4	24.6	R2	9	21.8	23.2	25.2	21.9	17.3	
H28	5	23.8	R3	10	21.3	23.1	26.0	21.5	15.2	
平均値		24.8	R4	11	20.8	23.0	27.0	21.1	12.9	20.8
			R5	12	20.3	22.9	28.2	20.7	10.7	20.7
			R6	13	19.8	22.8	29.6	20.2	8.6	20.6
			R7	14	19.3	22.7	31.2	19.8	6.7	20.5
			R8	15	18.8	22.6	33.0	19.4	5.2	20.4
			R9	16	18.3	22.5	35.0	19.1	3.9	20.3
			R10	17	17.8	22.5	37.2	18.7	2.9	20.3
			R11	18	17.3	22.4	39.6	18.3	2.1	20.2
相関係数					0.91409	0.94503	0.93934	0.91661	0.86733	
採用式						補正值採用				○

※補正值は、H30実績値を基にR1以降をべき曲線の傾向に補正した値

**各推計式**

推計式 / 係数	a	b	c	K
1次傾向線 $Y=a \cdot X+b$	-0.5	26.26	-	-
べき曲線 $Y=a \cdot X^b$	25.99952512	-0.05152305	-	-
2次傾向線 $Y=a \cdot X^2 + b \cdot X + c$	0.1	-1.1	26.96	-
1次指数曲線 $Y=a \cdot b^X$	26.28558993	0.980108551	-	-
ロジスティック曲線 $Y=K/[1+a \cdot \text{EXP}(-b \cdot X)]$	0.025088869	-0.340927815	-	26.68778255

図2-8 家庭系廃プラ原単位の推計



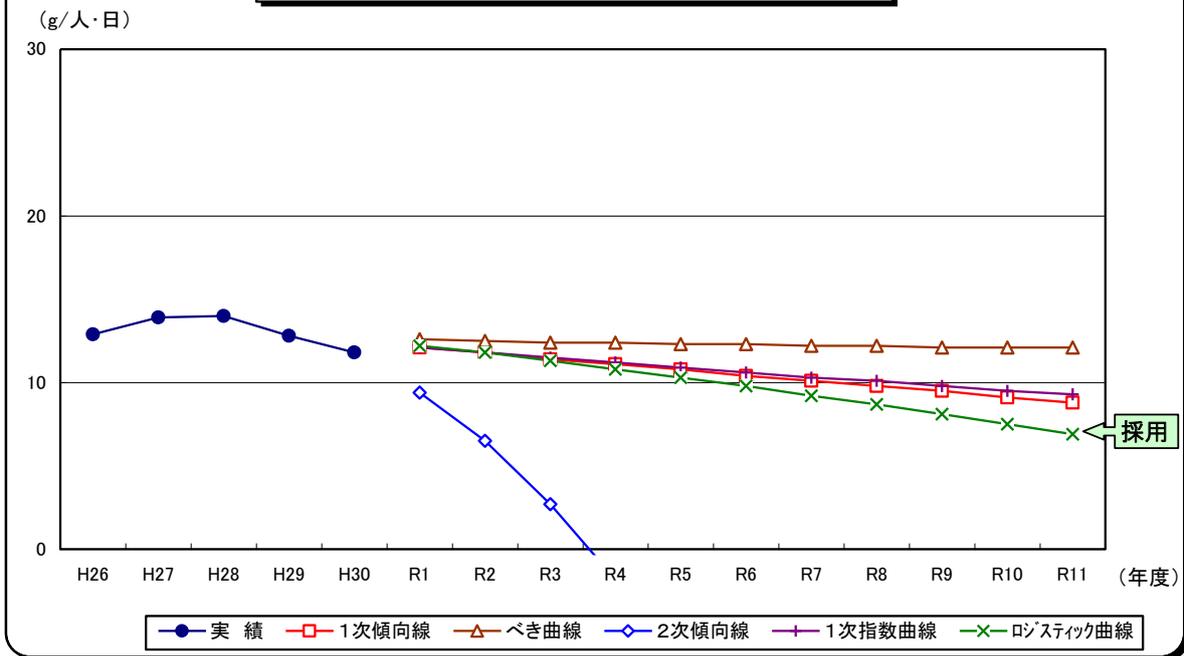
単位:g/人・日

実績			推計						
年度	X	データ	年度	X	1次傾向線	べき曲線	2次傾向線	1次指数曲線	ロジスティック曲線
H26	1	38.5	R1	6	36.5	37.2	33.3	36.4	36.6
H27	2	38.7	R2	7	35.9	37.0	29.6	35.9	35.9
H28	3	39.0	R3	8	35.4	36.9	25.0	35.4	35.2
H29	4	38.3	R4	9	34.8	36.8	19.5	34.9	34.5
H30	5	35.9	R5	10	34.3	36.6	13.1	34.3	33.7
			R6	11	33.7	36.5	5.8	33.8	32.8
平均値		38.1	R7	12	33.2	36.5	-2.4	33.3	31.9
			R8	13	32.6	36.4	-11.5	32.9	30.9
			R9	14	32.1	36.3	-21.5	32.4	29.9
			R10	15	31.5	36.2	-32.4	31.9	28.9
			R11	16	31.0	36.2	-44.2	31.4	27.8
			相関係数		0.69515	0.53632	0.96752	0.68925	0.72986
			採用式						○

各推計式

推計式 / 係数	a	b	c	K
1次傾向線 $Y=a \cdot X+b$	-0.55	39.75	-	-
べき曲線 $Y=a \cdot X^b$	39.14145556	-0.02862804	-	-
2次傾向線 $Y=a \cdot X^2 + b \cdot X + c$	-0.45	2.15	36.6	-
1次指数曲線 $Y=a \cdot b^x$	39.80760833	0.985346027	-	-
ロジスティック曲線 $Y=K/[1+a \cdot \text{EXP}(-b \cdot X)]$	0.087352061	-0.114522812	-	42.9

図2-9 家庭系新聞・雑誌・ダンボール等原単位の推計



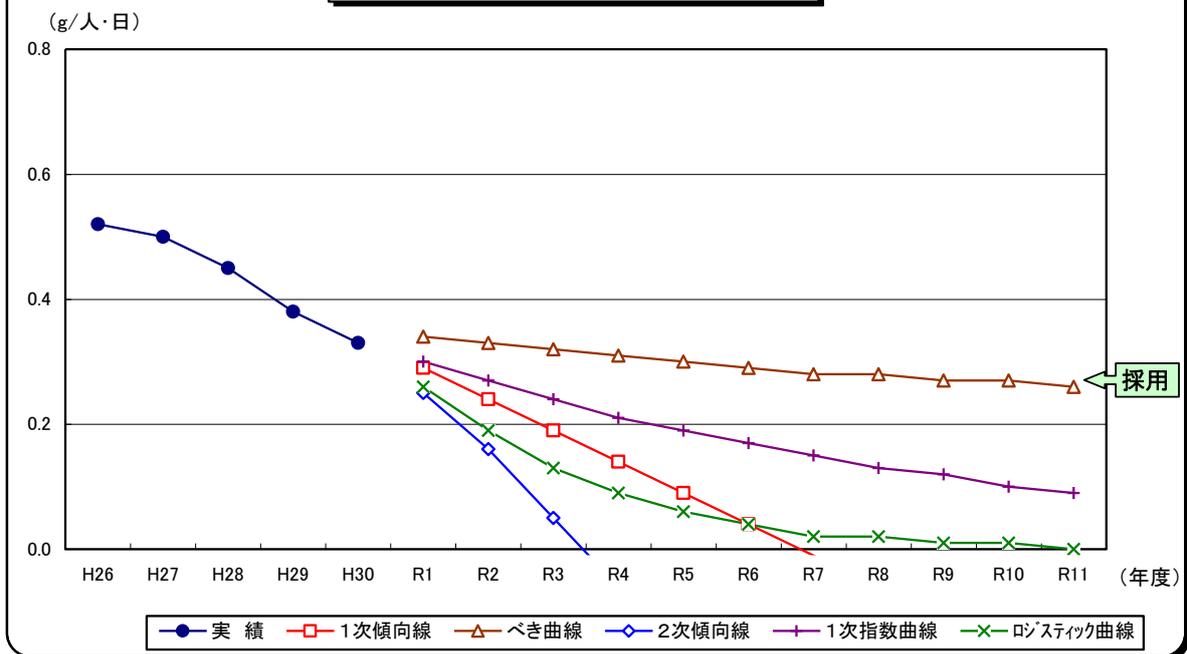
単位:g/人・日

実績			推計						
年度	X	データ	年度	X	1次傾向線	べき曲線	2次傾向線	1次指数曲線	ロジスティック曲線
H26	1	12.9	R1	6	12.1	12.6	9.4	12.1	12.2
H27	2	13.9	R2	7	11.8	12.5	6.5	11.8	11.8
H28	3	14.0	R3	8	11.4	12.4	2.7	11.5	11.3
H29	4	12.8	R4	9	11.1	12.4	-1.8	11.2	10.8
H30	5	11.8	R5	10	10.8	12.3	-7.0	10.9	10.3
平均値	13.1	R6	11	10.4	12.3	-13.0	10.6	9.8	
		R7	12	10.1	12.2	-19.8	10.3	9.2	
		R8	13	9.8	12.2	-27.3	10.1	8.7	
		R9	14	9.5	12.1	-35.6	9.8	8.1	
		R10	15	9.1	12.1	-44.6	9.5	7.5	
		R11	16	8.8	12.1	-54.4	9.3	6.9	
		相関係数	0.57726	0.36913	0.97324	0.56509	0.62630		
採用式					○				

各推計式

推計式 / 係数	a	b	c	K
1次傾向線 $Y=a \cdot X+b$	-0.33	14.07	-	-
べき曲線 $Y=a \cdot X^b$	13.60469107	-0.043102976	-	-
2次傾向線 $Y=a \cdot X^2 + b \cdot X + c$	-0.378571429	1.941428571	11.42	-
1次指数曲線 $Y=a \cdot b^x$	14.11662817	0.974266964	-	-
ロジスティック曲線 $Y=K/[1+a \cdot \text{EXP}(-b \cdot X)]$	0.105165655	-0.154003179	-	15.4

図2-10 家庭系牛乳パック原単位の推計



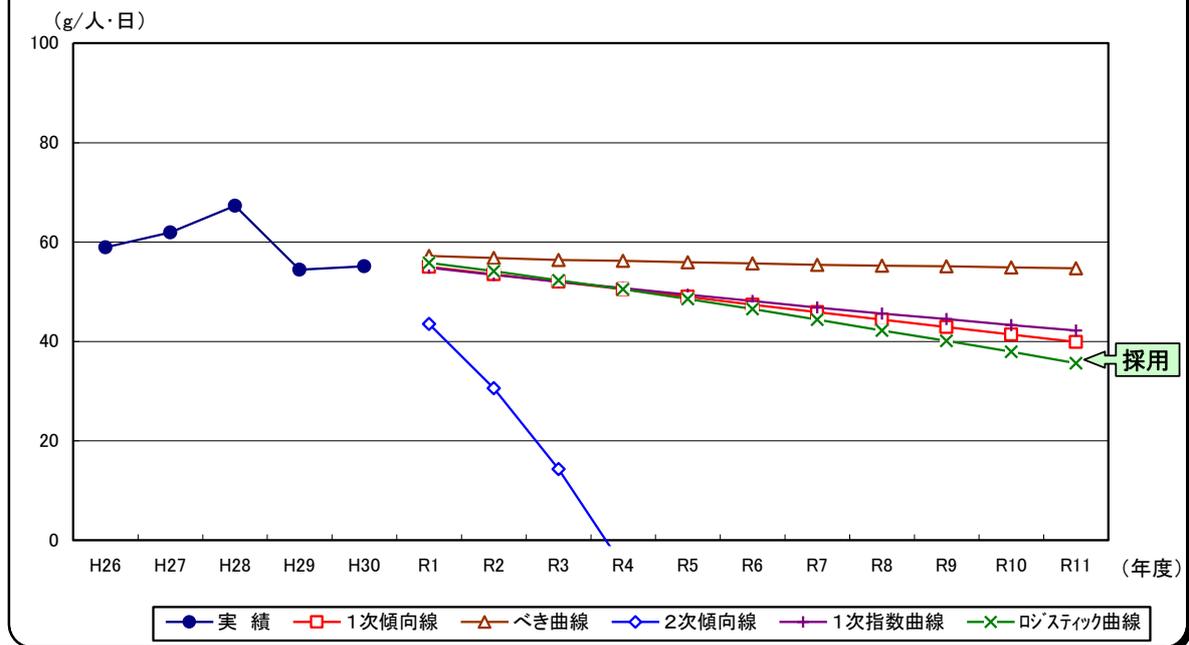
単位:g/人・日

実績			推計						
年度	X	データ	年度	X	1次傾向線	べき曲線	2次傾向線	1次指数曲線	ロジスティック曲線
H26	1	0.52	R1	6	0.29	0.34	0.25	0.30	0.26
H27	2	0.50	R2	7	0.24	0.33	0.16	0.27	0.19
H28	3	0.45	R3	8	0.19	0.32	0.05	0.24	0.13
H29	4	0.38	R4	9	0.14	0.31	-0.06	0.21	0.09
H30	5	0.33	R5	10	0.09	0.30	-0.18	0.19	0.06
			R6	11	0.04	0.29	-0.32	0.17	0.04
平均値		0.44	R7	12	-0.01	0.28	-0.47	0.15	0.02
			R8	13	-0.06	0.28	-0.62	0.13	0.02
			R9	14	-0.11	0.27	-0.79	0.12	0.01
			R10	15	-0.16	0.27	-0.98	0.10	0.01
			R11	16	-0.21	0.26	-1.17	0.09	0.00
			相関係数		0.98590	0.89883	0.99488	0.97394	0.99539
			採用式			○			

各推計式

推計式 / 係数	a	b	c	K
1次傾向線 $Y=a \cdot X+b$	-0.05	0.586	-	-
べき曲線 $Y=a \cdot X^b$	0.558226005	-0.272976165	-	-
2次傾向線 $Y=a \cdot X^2 + b \cdot X + c$	-0.005714286	-0.015714286	0.546	-
1次指数曲線 $Y=a \cdot b^x$	0.613121075	0.888348715	-	-
ロジスティック曲線 $Y=K/[1+a \cdot \text{EXP}(-b \cdot X)]$	0.073524306	-0.477210336	-	0.585876443

図2-11 家庭系可燃粗大ごみ（燃やすごみ中の可燃粗大含む）原単位の推計



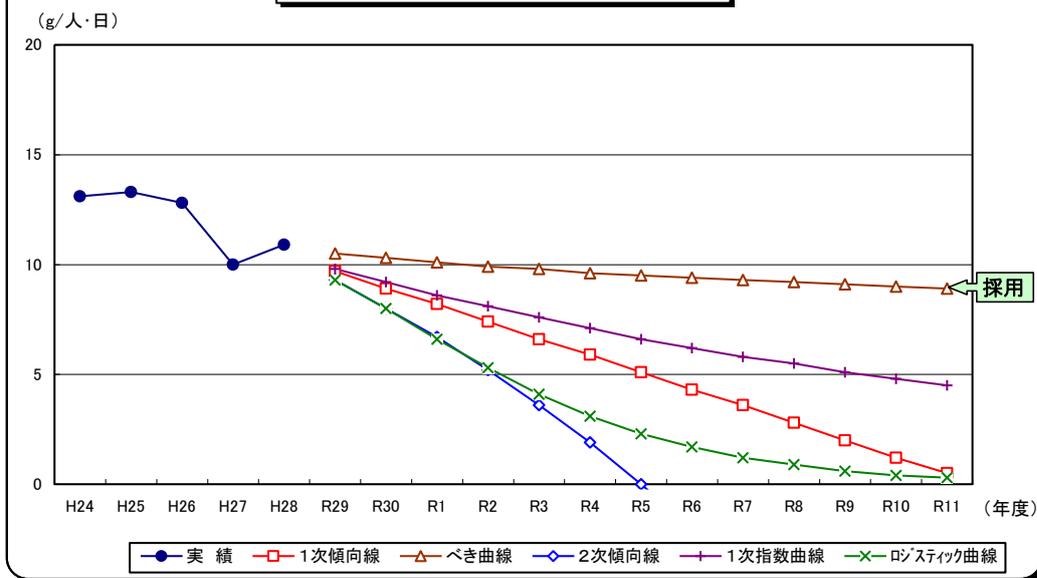
単位:g/人・日

実績			推計						
年度	X	データ	年度	X	1次傾向線	べき曲線	2次傾向線	1次指数曲線	ロジスティック曲線
H26	1	58.9	R1	6	55.0	57.2	43.5	54.8	55.8
H27	2	61.9	R2	7	53.5	56.8	30.6	53.4	54.1
H28	3	67.3	R3	8	52.0	56.4	14.3	52.0	52.3
H29	4	54.4	R4	9	50.5	56.2	-5.2	50.7	50.5
H30	5	55.1	R5	10	49.0	55.9	-27.9	49.4	48.5
			R6	11	47.4	55.7	-54.0	48.1	46.5
平均値		59.5	R7	12	45.9	55.4	-83.3	46.8	44.4
			R8	13	44.4	55.2	-115.9	45.6	42.2
			R9	14	42.9	55.1	-151.7	44.5	40.1
			R10	15	41.4	54.9	-190.9	43.3	37.9
			R11	16	39.9	54.7	-233.3	42.2	35.6
			相関係数		0.45054	0.29075	0.73243	0.44147	0.47546
			採用式						○

各推計式

推計式 / 係数	a	b	c	K
1次傾向線 $Y=a \cdot X+b$	-1.51	64.05	-	-
べき曲線 $Y=a \cdot X^b$	61.91787345	-0.044492828	-	-
2次傾向線 $Y=a \cdot X^2 + b \cdot X + c$	-1.635714286	8.304285714	52.6	-
1次指数曲線 $Y=a \cdot b^x$	64.19778496	0.974087759	-	-
ロジスティック曲線 $Y=K/[1+a \cdot \text{EXP}(-b \cdot X)]$	0.159857213	-0.119205294	-	74.03

図2-12 家庭系不燃粗大ごみ原単位の推計



単位:g/人・日

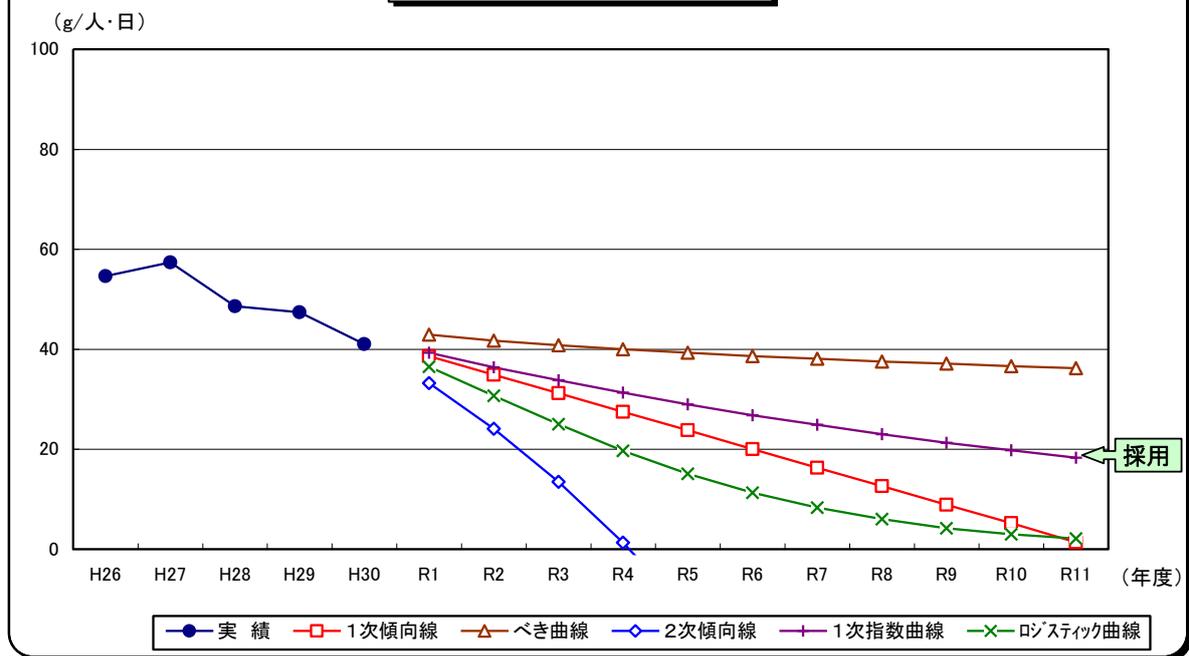
実績			推計							
年度	X	データ	年度	X	1次傾向線	べき曲線	2次傾向線	1次指数曲線	ロジスティック曲線	べき曲線補正值
H24	1	13.1	H29	6	9.7	10.5	9.3	9.8	9.3	H30実績値
H25	2	13.3	H30	7	8.9	10.3	8.0	9.2	8.0	
H26	3	12.8	R1	8	8.2	10.1	6.7	8.6	6.6	7.8
H27	4	10.0	R2	9	7.4	9.9	5.2	8.1	5.3	7.6
H28	5	10.9	R3	10	6.6	9.8	3.6	7.6	4.1	7.5
			R4	11	5.9	9.6	1.9	7.1	3.1	7.3
平均値		12.0	R5	12	5.1	9.5	0.0	6.6	2.3	7.2
			R6	13	4.3	9.4	-2.0	6.2	1.7	7.1
			R7	14	3.6	9.3	-4.1	5.8	1.2	7.0
			R8	15	2.8	9.2	-6.3	5.5	0.9	6.9
			R9	16	2.0	9.1	-8.7	5.1	0.6	6.8
			R10	17	1.2	9.0	-11.2	4.8	0.4	6.7
			R11	18	0.5	8.9	-13.9	4.5	0.3	6.6
			相関係数		0.82326	0.74584	0.82727	0.81911	0.82479	
			採用式			補正值採用				○

※補正值は、H30実績値を基にR1以降をべき曲線の傾向に補正した値

各推計式

推計式 / 係数	a	b	c	K
1次傾向線 $Y=a \cdot X+b$	-0.77	14.33	-	-
べき曲線 $Y=a \cdot X^b$	13.79370292	-0.150369256	-	-
2次傾向線 $Y=a \cdot X^2 + b \cdot X + c$	-0.064285714	-0.384285714	13.88	-
1次指数曲線 $Y=a \cdot b^x$	14.52828169	0.936797831	-	-
ロジスティック曲線 $Y=K / \{1+a \cdot \text{EXP}(-b \cdot X)\}$	0.063784227	-0.368253675	-	14.63

図2-13 集団回収原単位の推計



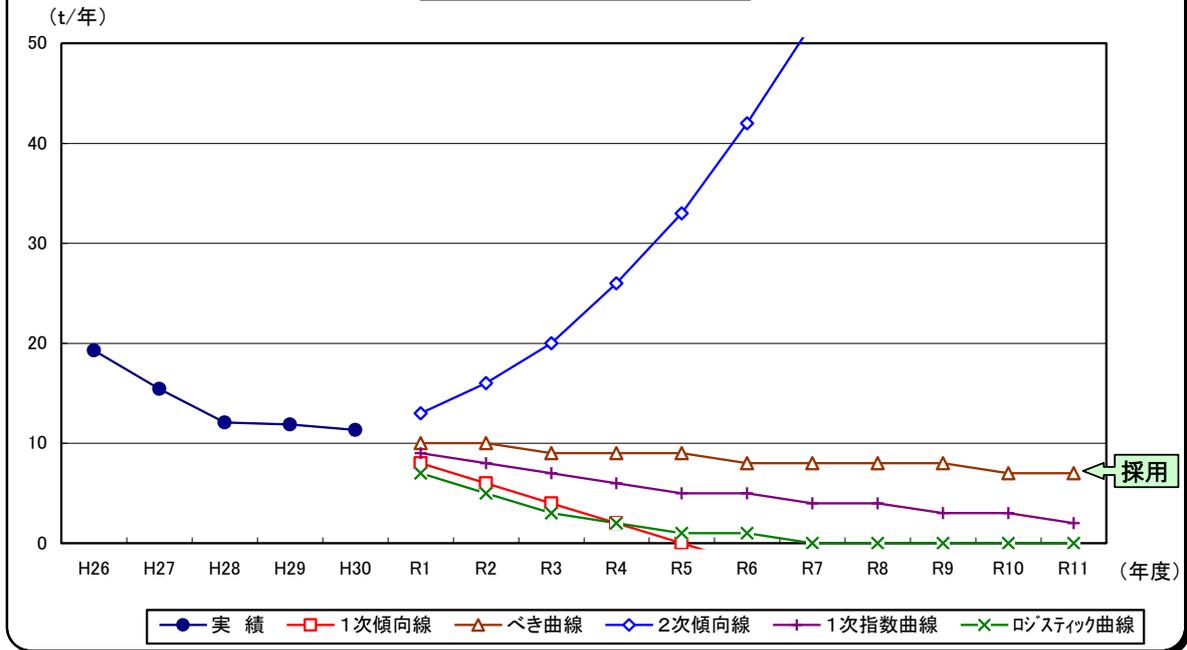
単位:g/人・日

実績			推計						
年度	X	データ	年度	X	1次傾向線	べき曲線	2次傾向線	1次指数曲線	ロジスティック曲線
H26	1	54.6	R1	6	38.6	42.9	33.2	39.3	36.5
H27	2	57.4	R2	7	34.9	41.7	24.1	36.4	30.7
H28	3	48.6	R3	8	31.2	40.8	13.5	33.8	25.0
H29	4	47.4	R4	9	27.5	40.0	1.3	31.3	19.7
H30	5	41.0	R5	10	23.8	39.3	-12.5	29.0	15.1
			R6	11	20.0	38.6	-27.8	26.8	11.3
平均値		49.8	R7	12	16.3	38.1	-44.6	24.9	8.3
			R8	13	12.6	37.5	-63.0	23.0	6.0
			R9	14	8.9	37.1	-82.9	21.3	4.2
			R10	15	5.2	36.6	-104.4	19.8	3.0
			R11	16	1.4	36.2	-127.4	18.3	2.1
			相関係数		0.91458	0.80780	0.94171	0.90334	0.93508
			採用式					○	

各推計式

推計式 / 係数	a	b	c	K
1次傾向線 $Y=a \cdot X+b$	-3.72	60.96	-	-
べき曲線 $Y=a \cdot X^b$	58.28708026	-0.171489861	-	-
2次傾向線 $Y=a \cdot X^2 + b \cdot X + c$	-0.771428571	0.908571429	55.56	-
1次指数曲線 $Y=a \cdot b^x$	62.20795681	0.926413527	-	-
ロジスティック曲線 $Y=K/[1+a \cdot \text{EXP}(-b \cdot X)]$	0.080448447	-0.367834158	-	63.14

図2-14 乙辺し渣量の推計



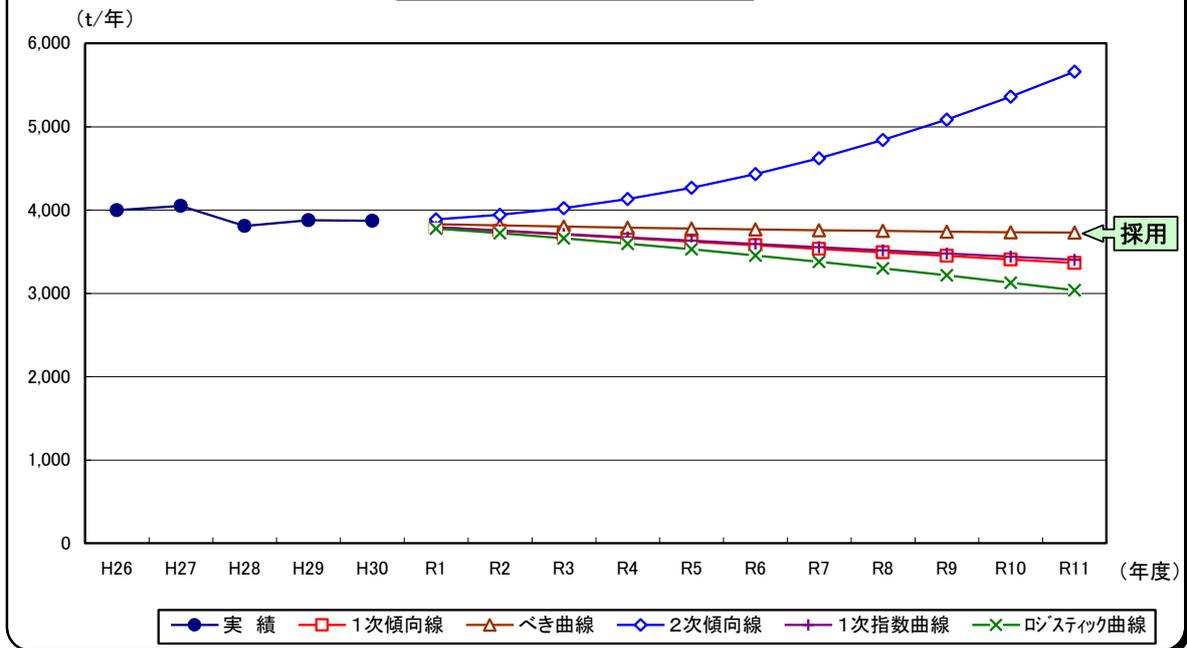
単位:t/年

実績			推計						
年度	X	データ	年度	X	1次傾向線	べき曲線	2次傾向線	1次指数曲線	ロジスティック曲線
H26	1	19	R1	6	8	10	13	9	7
H27	2	15	R2	7	6	10	16	8	5
H28	3	12	R3	8	4	9	20	7	3
H29	4	12	R4	9	2	9	26	6	2
H30	5	11	R5	10	0	9	33	5	1
			R6	11	-2	8	42	5	1
平均値		14	R7	12	-4	8	52	4	0
			R8	13	-5	8	63	4	0
			R9	14	-7	8	75	3	0
			R10	15	-9	7	90	3	0
			R11	16	-11	7	105	2	0
			相関係数		0.91472	0.98575	0.99343	0.94223	0.86990
			採用式			○			

各推計式

推計式 / 係数	a	b	c	K
1次傾向線 $Y=a \cdot X+b$	-1.945	19.839	-	-
べき曲線 $Y=a \cdot X^b$	19.12003659	-0.347347879	-	-
2次傾向線 $Y=a \cdot X^2 + b \cdot X + c$	0.696428571	-6.123571429	24.714	-
1次指数曲線 $Y=a \cdot b^x$	20.39878207	0.875954498	-	-
ロジスティック曲線 $Y=K/[1+a \cdot \text{EXP}(-b \cdot X)]$	0.09914182	-0.507180602	-	21.208

図2-15 事業系ごみ量の推計



単位:t/年

実績			推計						
年度	X	データ	年度	X	1次傾向線	べき曲線	2次傾向線	1次指数曲線	ロジスティック曲線
H26	1	3,997	R1	6	3,791	3,829	3,887	3,793	3,777
H27	2	4,048	R2	7	3,748	3,813	3,941	3,752	3,720
H28	3	3,807	R3	8	3,705	3,799	4,022	3,711	3,660
H29	4	3,877	R4	9	3,662	3,786	4,130	3,671	3,595
H30	5	3,869	R5	10	3,619	3,775	4,266	3,631	3,527
平均値	3,920	R6	11	3,576	3,766	4,430	3,592	3,454	
		R7	12	3,533	3,756	4,621	3,553	3,378	
		R8	13	3,490	3,748	4,839	3,515	3,298	
		R9	14	3,448	3,740	5,086	3,477	3,214	
		R10	15	3,405	3,733	5,359	3,439	3,126	
		R11	16	3,362	3,727	5,660	3,402	3,035	
相関係数					0.68162	0.69490	0.72903	0.68326	0.66957
採用式						○			

各推計式

推計式 / 係数	a	b	c	K
1次傾向線 $Y=a \cdot X+b$	-42.92263	4048.48475	-	-
べき曲線 $Y=a \cdot X^b$	4023.975143	-0.027684598	-	-
2次傾向線 $Y=a \cdot X^2 + b \cdot X + c$	13.76440714	-125.5090729	4144.8356	-
1次指数曲線 $Y=a \cdot b^X$	4048.751139	0.989176938	-	-
ロジスティック曲線 $Y=K/[1+a \cdot \text{EXP}(-b \cdot X)]$	0.100578779	-0.096007695	-	4453.19193

### (3) ごみ処理量の予測

ごみ処理量は、燃やすごみと粗大ごみを平成 30 年 2 月に供用開始した四交クリーンセンターにおいて処理することから、焼却残渣量及び粗大ごみの破碎選別処理内訳量については、平成 30 年度処理実績比率等により予測を行う。

現状推移によるごみ発生量及び処理量の予測結果は表 2-7 及び表 2-8 に示すとおりである。

表 2-7 現状推移によるごみ発生量の予測結果

項目\年度		実績					予測											備考	
		平成26	平成27	平成28	平成29	平成30	令和1	令和2	令和3	令和4	令和5	令和6	令和7	令和8	令和9	令和10	令和11		
行政区域内人口	(人)	77,928	77,943	77,913	77,816	77,834	77,652	77,535	77,264	77,290	77,174	76,992	76,823	76,502	76,129	75,756	75,383	(1)	人口ビジョン、開発計画
年間日数	(日/年)	365	366	365	365	365	366	365	365	365	366	365	365	365	366	365	365	(2)	
家庭系ごみ	(t/年)	16,866	16,993	16,783	16,127	15,892	15,877	15,620	15,391	15,221	15,063	14,815	14,613	14,383	14,187	13,918	13,691	(3)	(5)+(9)+(47)+(49)+(57)+(59)
	(g/人・日)	593.0	595.7	590.2	567.8	559.4	558.6	551.9	545.7	539.5	533.3	527.2	521.1	515.1	509.1	503.3	497.6	(4)	(3)÷(1)÷(2)×10 <sup>6</sup>
燃やすごみ	(t/年)	11,085	11,064	10,953	11,187	11,723	11,721	11,631	11,554	11,521	11,493	11,398	11,337	11,247	11,187	11,063	10,970	(5)	(6)×(1)×(2)÷10 <sup>6</sup>
	(g/人・日)	389.7	387.9	385.1	393.9	412.6	412.4	411.0	409.7	408.4	406.9	405.6	404.3	402.8	401.5	400.1	398.7	(6)	(7)+(8)
普通ごみ	(g/人・日)	389.7	387.9	385.1	385.3	384.6	384.0	383.5	383.1	382.7	382.3	382.0	381.7	381.4	381.1	380.8	380.6	(7)	べき曲線(H24~H28実績による推計、H29.30:推計値)
可燃粗大ごみ	(g/人・日)				8.6	28.0	28.4	27.5	26.6	25.7	24.6	23.6	22.6	21.4	20.4	19.3	18.1	(8)	実績:(6)-(7)、予測:=(53)
資源ごみ	(t/年)	2,169	2,226	2,211	1,658	1,997	2,027	1,980	1,937	1,901	1,863	1,811	1,762	1,711	1,660	1,601	1,545	(9)	(11)+(27)+(35)+(37)
	(g/人・日)	76.2	78.0	77.8	58.4	70.3	71.3	70.0	68.7	67.4	66.0	64.4	62.8	61.3	59.6	57.9	56.2	(10)	(9)÷(1)÷(2)×10 <sup>6</sup>
缶・びん・乾電池	(t/年)	690	701	676	184	605	603	594	589	587	585	579	575	570	566	561	556	(11)	(12)×(1)×(2)÷10 <sup>6</sup>
	(g/人・日)	24.2	24.6	23.8	6.5	21.3	21.2	21.0	20.9	20.8	20.7	20.6	20.5	20.4	20.3	20.3	20.2	(12)	べき曲線補正値(H24~H28実績による推計)
スチール缶	(t/年)	94	91	87	36	64	63	63	62	62	62	61	61	60	60	59	59	(13)	(11)×H30{(13)/(11)}
	(g/人・日)	3.3	3.2	3.1	1.3	2.2	2.2	2.2	2.2	2.2	2.2	2.2	2.2	2.1	2.1	2.1	2.1	(14)	(13)÷(1)÷(2)×10 <sup>6</sup>
アルミ缶	(t/年)	67	65	64	30	34	34	33	33	33	33	33	32	32	32	32	31	(15)	(11)×H30{(15)/(11)}
	(g/人・日)	2.3	2.3	2.2	1.1	1.2	1.2	1.2	1.2	1.2	1.2	1.2	1.2	1.1	1.1	1.1	1.1	(16)	(15)÷(1)÷(2)×10 <sup>6</sup>
ガラスビン(無色)	(t/年)	271	266	253	40	124	124	122	121	120	120	119	118	117	116	115	114	(17)	(11)×H30{(17)/(11)}
	(g/人・日)	9.5	9.3	8.9	1.4	4.4	4.3	4.3	4.3	4.3	4.2	4.2	4.2	4.2	4.2	4.2	4.1	(18)	(17)÷(1)÷(2)×10 <sup>6</sup>
ガラスビン(茶色)	(t/年)	137	142	133	53	93	93	92	91	90	90	89	89	88	87	86	86	(19)	(11)×H30{(19)/(11)}
	(g/人・日)	4.8	5.0	4.7	1.9	3.3	3.3	3.2	3.2	3.2	3.2	3.2	3.2	3.1	3.1	3.1	3.1	(20)	(19)÷(1)÷(2)×10 <sup>6</sup>
ガラスビン(その他)	(t/年)	87	83	82	13	71	71	70	69	69	68	68	67	67	66	66	65	(21)	(11)×H30{(21)/(11)}
	(g/人・日)	3.0	2.9	2.9	0.4	2.5	2.5	2.5	2.4	2.4	2.4	2.4	2.4	2.4	2.4	2.4	2.4	(22)	(21)÷(1)÷(2)×10 <sup>6</sup>
乾電池	(t/年)	8	26	25	12	16	16	16	16	16	16	16	16	16	15	15	15	(23)	(11)×H30{(23)/(11)}
	(g/人・日)	0.27	0.92	0.86	0.41	0.58	0.58	0.57	0.57	0.57	0.56	0.56	0.56	0.56	0.55	0.55	0.55	(24)	(23)÷(1)÷(2)×10 <sup>6</sup>
可燃残渣	(t/年)	26	28	32	0	203	202	199	198	197	196	194	193	191	190	188	187	(25)	(11)×H30{(25)/(11)}
	(g/人・日)	0.9	1.0	1.1	0.0	7.1	7.1	7.0	7.0	7.0	7.0	6.9	6.9	6.9	6.8	6.8	6.8	(26)	(25)÷(1)÷(2)×10 <sup>6</sup>
廃プラ	(t/年)	1,096	1,105	1,110	1,089	1,021	1,040	1,016	993	973	952	922	894	863	833	799	765	(27)	(28)×(1)×(2)÷10 <sup>6</sup>
	(g/人・日)	38.5	38.7	39.0	38.3	35.9	36.6	35.9	35.2	34.5	33.7	32.8	31.9	30.9	29.9	28.9	27.8	(28)	ロジスティック曲線
ペットボトル	(t/年)	71	81	81	79	71	73	71	69	68	67	64	62	60	58	56	53	(29)	(27)×H30{(29)/(27)}
	(g/人・日)	2.5	2.9	2.9	2.8	2.5	2.6	2.5	2.5	2.4	2.4	2.3	2.2	2.2	2.1	2.0	1.9	(30)	(29)÷(1)÷(2)×10 <sup>6</sup>
プラスチック製容器包装	(t/年)	995	1,001	1,000	982	897	914	893	872	855	836	810	785	758	732	702	672	(31)	(27)×H30{(31)/(27)}
	(g/人・日)	35.0	35.1	35.2	34.6	31.6	32.1	31.5	30.9	30.3	29.6	28.8	28.0	27.2	26.3	25.4	24.4	(32)	(31)÷(1)÷(2)×10 <sup>6</sup>
可燃残渣	(t/年)	30	23	29	28	53	54	52	51	50	49	48	46	45	43	41	40	(33)	(27)×H30{(33)/(27)}
	(g/人・日)	1.0	0.8	1.0	1.0	1.9	1.9	1.9	1.8	1.8	1.7	1.7	1.6	1.6	1.5	1.5	1.4	(34)	(33)÷(1)÷(2)×10 <sup>6</sup>
新聞・雑誌・ダンボール等	(t/年)	367	397	399	364	334	347	334	319	305	291	275	258	243	226	207	190	(35)	(36)×(1)×(2)÷10 <sup>6</sup>
	(g/人・日)	12.9	13.9	14.0	12.8	11.8	12.2	11.8	11.3	10.8	10.3	9.8	9.2	8.7	8.1	7.5	6.9	(36)	ロジスティック曲線
拠点回収	(t/年)	16	23	26	21	37	37	36	36	36	35	35	35	35	35	34	34	(37)	(39)+(41)+(43)+(45)
	(g/人・日)	0.6	0.8	0.9	0.7	1.3	1.3	1.3	1.3	1.3	1.2	1.2	1.3	1.3	1.3	1.2	1.2	(38)	(37)÷(1)÷(2)×10 <sup>6</sup>
牛乳パック	(t/年)	15	14	13	11	9	10	9	9	9	8	8	8	8	8	7	7	(39)	(40)×(1)×(2)÷10 <sup>6</sup>
	(g/人・日)	0.52	0.50	0.45	0.38	0.33	0.34	0.33	0.32	0.31	0.30	0.29	0.28	0.28	0.27	0.27	0.26	(40)	べき曲線
ダンボール	(t/年)	1	1	1	0.4	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	(41)	(42)×(1)×(2)÷10 <sup>6</sup>
	(g/人・日)	0.040	0.039	0.037	0.014	0.004	0.004	0.004	0.004	0.004	0.004	0.004	0.004	0.004	0.004	0.004	0.004	(42)	H30実績値一定推移
蛍光灯	(t/年)		8	12	8	7	7	7	7	7	7	7	7	7	7	7	7	(43)	(44)×(1)×(2)÷10 <sup>6</sup>
	(g/人・日)		0.29	0.43	0.29	0.25	0.25	0.25	0.25	0.25	0.25	0.25	0.25	0.25	0.25	0.25	0.25	(44)	H30実績値一定推移
小型家電	(t/年)				2	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	(45)	(46)×(1)×(2)÷10 <sup>6</sup>
	(g/人・日)				0.05	0.71	0.71	0.71	0.71	0.71	0.71	0.71	0.71	0.71	0.71	0.71	0.71	(46)	H30実績値一定推移
使い捨てライター(拠点回収)	(t/年)			0.2	0.3	0.4	0.4	0.4	0.4	0.4	0.4	0.4	0.4	0.4	0.4	0.4	0.4	(47)	(48)×(1)×(2)÷10 <sup>6</sup>
	(g/人・日)			0.007	0.011	0.015	0.015	0.015	0.015	0.015	0.015	0.015	0.015	0.015	0.015	0.015	0.015	(48)	H30実績値一定推移
粗大ごみ	(t/年)	2,040	2,051	2,224	1,922	997	1,001	968	937	906	878	844	807	774	738	699	664	(49)	(51)+(55)
	(g/人・日)	71.7	71.9	78.2	67.7	35.1	35.2	34.2	33.2	32.1	31.1	30.0	28.8	27.7	26.5	25.3	24.1	(50)	(49)÷(1)÷(2)×10 <sup>6</sup>
可燃粗大ごみ	(t/年)	1,676	1,766	1,914	1,300	770	779	753	725	700	675	644	611	581	549	514	482	(51)	(52)×(1)×(2)÷10 <sup>6</sup>
	(g/人・日)	58.9	61.9	67.3	45.8	27.1	27.4	26.6	25.7	24.8	23.9	22.9	21.8	20.8	19.7	18.6	17.5	(52)	(54)-(53)
燃やすごみ中の可燃粗大	(g/人・日)				8.6	28.0	28.4	27.5	26.6	25.7	24.6	23.6	22.6	21.4	20.4	19.3	18.1	(53)	実績:=(8)、予測:=(54)×H30{(53)/(54)}
可燃粗大ごみ合計	(g/人・日)				8.6	28.0	28.4	27.5	26.6	25.7	24.6	23.6	22.6	21.4	20.4	19.3	18.1	(54)	実績:(52)+(53)、予測:ロジスティック曲線
不燃粗大ごみ	(t/年)	364	285	310	622	227	222	215	212	206	203	200	196	193	189	185	182	(55)	(56)×(1)×(2)÷10 <sup>6</sup>
	(g/人・日)	12.8	10.0	10.9	21.9	8.0	7.8	7.6	7.5	7.3	7.2	7.1	7.0	6.9	6.8	6.7	6.6	(56)	べき曲線補正値(H24~H28実績による推計)
集団回収	(t/年)	1,553	1,637	1,383	1,348	1,164	1,117	1,030	953	883	819	753	698	642	593	547	504	(57)	(58)×(1)×(2)÷10 <sup>6</sup>
	(g/人・日)	54.6	57.4	48.6	47.4	41.0	39.3	36.4	33.8	31.3	29.0	26.8	24.9	23.0	21.3	19.8	18.3	(58)	1次指数曲線
乙辺し渣	(t/年)	19	15	12	12	11	10	10	9	9	9	8	8	8	8	7	7	(59)	べき曲線
	(g/人・日)	462.2	460.3	463.8	462.0	448.1	448.0	445.5	443.2	440.8	438.3	436.0	433.4	430.8	428.2	4			

表 2-8 現状推移によるごみ発生量及び処理量の予測結果

項目\年度		実績					予測											備考	
		平成26	平成27	平成28	平成29	平成30	令和1	令和2	令和3	令和4	令和5	令和6	令和7	令和8	令和9	令和10	令和11		
家庭系ごみ	(t/年)	16,866	16,993	16,783	16,127	15,892	15,877	15,620	15,391	15,221	15,063	14,815	14,613	14,383	14,187	13,918	13,691	(1)	(2)+(3)+(22)+(23)+(33)+(40)
燃やすごみ	(t/年)	11,085	11,064	10,953	11,187	11,723	11,721	11,631	11,554	11,521	11,493	11,398	11,337	11,247	11,187	11,063	10,970	(2)	焼却処理
資源ごみ	(t/年)	2,169	2,226	2,211	1,658	1,996	2,027	1,980	1,937	1,901	1,863	1,811	1,762	1,711	1,660	1,601	1,545	(3)	(4)+(12)+(16)+(17)
缶・びん・乾電池	(t/年)	690	701	676	184	605	603	594	589	587	585	579	575	570	566	561	556	(4)	(5)+(6)+(7)+(8)+(9)+(10)+(11)
スチール缶	(t/年)	94	91	87	36	64	63	63	62	62	62	61	61	60	60	59	59	(5)	資源化
アルミ缶	(t/年)	67	65	64	30	34	34	33	33	33	33	33	32	32	32	32	31	(6)	資源化
ガラスビン(無色)	(t/年)	271	266	253	40	124	124	122	121	120	120	119	118	117	116	115	114	(7)	資源化
ガラスビン(茶色)	(t/年)	137	142	133	53	93	93	92	91	90	90	89	89	88	87	86	86	(8)	資源化
ガラスビン(その他)	(t/年)	87	83	82	13	71	71	70	69	69	68	68	67	67	66	66	65	(9)	資源化
乾電池	(t/年)	8	26	25	12	16	16	16	16	16	16	16	16	16	15	15	15	(10)	資源化
可燃残渣	(t/年)	26	28	32	0	203	202	199	198	197	196	194	193	191	190	188	187	(11)	焼却処理
廃プラ	(t/年)	1,096	1,105	1,110	1,089	1,021	1,040	1,016	993	973	952	922	894	863	833	799	765	(12)	(13)+(14)+(15)
ペットボトル	(t/年)	71	81	81	79	71	73	71	69	68	67	64	62	60	58	56	53	(13)	資源化(収集量)
プラスチック製容器包装	(t/年)	995	1,001	1,000	982	897	914	893	872	855	836	810	785	758	732	702	672	(14)	資源化(収集量)
可燃残渣	(t/年)	30	23	29	28	53	54	52	51	50	49	48	46	45	43	41	40	(15)	焼却処理
新聞・雑誌・ダンボール等	(t/年)	367	397	399	364	334	347	334	319	305	291	275	258	243	226	207	190	(16)	資源化
拠点回収	(t/年)	16	23	26	21	37	37	36	36	36	35	35	35	35	35	34	34	(17)	(18)+(19)+(20)+(21)
牛乳パック	(t/年)	15	14	13	11	9	10	9	9	9	8	8	8	8	8	7	7	(18)	資源化
ダンボール	(t/年)	1	1	1	0.4	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	(19)	資源化
蛍光灯	(t/年)		8	12	8	7	7	7	7	7	7	7	7	7	7	7	7	(20)	資源化
小型家電	(t/年)				2	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	(21)	資源化
使い捨てライター	(t/年)			0.2	0.3	0.4	0.4	0.4	0.4	0.4	0.4	0.4	0.4	0.4	0.4	0.4	0.4	(22)	焼却処理
粗大ごみ	(t/年)	2,040	2,051	2,224	1,922	997	1,001	968	937	906	878	844	807	774	738	699	664	(23)	(24)+(27)
可燃粗大ごみ	(t/年)	1,676	1,766	1,914	1,300	770	779	753	725	700	675	644	611	581	549	514	482	(24)	(25)+(26)
破碎焼却	(t/年)	1,662	1,758	1,914	1,300	770	779	753	725	700	675	644	611	581	549	514	482	(25)	(24)×H30[(25)/(24)]
ウエス・古布	(t/年)	14	8	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	(26)	(24)×H30[(26)/(24)]
不燃粗大ごみ	(t/年)	364	285	310	622	227	222	215	212	206	203	200	196	193	189	185	182	(27)	(28)+(29)+(30)+(31)+(32)
埋立て	(t/年)	137	66	48	324	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	(28)	(27)×H30[(28)/(27)]
金属類	(t/年)	141	132	159	202	189	185	179	176	172	170	167	164	161	158	155	152	(29)	(27)×H30[(29)/(27)]
アルミ	(t/年)	5	4	2	7	19	18	18	18	17	17	17	16	16	16	15	15	(30)	(27)×H30[(30)/(27)]
自転車	(t/年)	23	16	16	17	15	15	14	14	14	13	13	13	13	12	12	12	(31)	(27)×H30[(31)/(27)]
家電OA雑品等	(t/年)	58	67	85	72	4	4	4	4	3	3	3	3	3	3	3	3	(32)	(27)×H30[(32)/(27)]
集団回収量	(t/年)	1,553	1,637	1,383	1,348	1,164	1,117	1,030	953	883	819	753	698	642	593	547	504	(33)	資源化
古布・古着	(t/年)	111	116	101	92	101	97	90	83	77	71	65	61	56	52	48	44	(34)	(33)×H30[(34)/(33)]
ダンボール	(t/年)	192	322	175	229	175	168	155	143	133	123	113	105	96	89	82	76	(35)	(33)×H30[(35)/(33)]
新聞・雑誌	(t/年)	1,222	1,161	1,081	1,000	861	826	761	704	652	605	556	516	476	438	404	372	(36)	(33)×H30[(36)/(33)]
紙製パック	(t/年)	3	3	2	3	2	2	2	2	2	2	2	1	1	1	1	1	(37)	(33)×H30[(37)/(33)]
アルミ缶	(t/年)	24	33	23	23	23	22	20	19	17	16	15	14	12	11	10	10	(38)	(33)×H30[(38)/(33)]
スチール缶・鉄くず	(t/年)	1	2	1	1	2	2	2	2	2	2	2	1	1	1	1	1	(39)	(33)×H30[(39)/(33)]
乙辺し渣	(t/年)	19	15	12	12	11	10	10	9	9	9	8	8	8	8	7	7	(40)	焼却処理
事業系ごみ	(t/年)	3,997	4,048	3,807	3,877	3,869	3,829	3,813	3,799	3,786	3,775	3,766	3,756	3,748	3,740	3,733	3,727	(41)	
燃やすごみ	(t/年)	3,997	4,048	3,807	3,877	3,869	3,829	3,813	3,799	3,786	3,775	3,766	3,756	3,748	3,740	3,733	3,727	(42)	焼却処理
ごみ排出量	(t/年)	19,310	19,404	19,207	18,656	18,597	18,589	18,403	18,237	18,124	18,019	17,828	17,671	17,489	17,334	17,104	16,914	(43)	(2)+(3)+(22)+(23)+(40)+(42)
ごみ発生量	(t/年)	20,863	21,041	20,590	20,004	19,761	19,706	19,433	19,190	19,007	18,838	18,581	18,369	18,131	17,927	17,651	17,418	(44)	(33)+(43)
焼却処理量	(t/年)	16,819	16,936	16,748	16,404	16,629	16,596	16,459	16,336	16,264	16,198	16,058	15,952	15,820	15,717	15,547	15,413	(45)	(2)+(11)+(15)+(22)+(25)+(40)+(42)
焼却残渣量	(t/年)	2,179	2,179	2,150	1,455	1,748	1,745	1,730	1,717	1,710	1,703	1,688	1,677	1,663	1,652	1,634	1,620	(46)	(45)×H30[(46)/(45)]
資源化量	(t/年)	2,354	2,402	2,412	1,928	1,968	1,993	1,943	1,900	1,860	1,821	1,769	1,719	1,668	1,616	1,557	1,501	(47)	(5~10)+(13)+(14)+(16)+(17)+(26)+(29~32)
再生利用量	(t/年)	3,907	4,039	3,794	3,276	3,132	3,110	2,973	2,853	2,743	2,640	2,522	2,417	2,310	2,209	2,104	2,005	(48)	(47)+(33)
再生利用率	(%)	18.7%	19.2%	18.4%	16.4%	15.8%	15.8%	15.3%	14.9%	14.4%	14.0%	13.6%	13.2%	12.7%	12.3%	11.9%	11.5%	(49)	(48)÷(44)×100
最終処分量	(t/年)	2,316	2,245	2,198	1,779	1,748	1,745	1,730	1,717	1,710	1,703	1,688	1,677	1,663	1,652	1,634	1,620	(50)	(51)+(52)
不燃残渣等	(t/年)	137	66	48	324	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	(51)	=(28)
焼却残渣	(t/年)	2,179	2,179	2,150	1,455	1,748	1,745	1,730	1,717	1,710	1,703	1,688	1,677	1,663	1,652	1,634	1,620	(52)	=(46)

### 3 減量化目標の設定

減量化目標設定の概念は図 2-16 に示すとおりである。

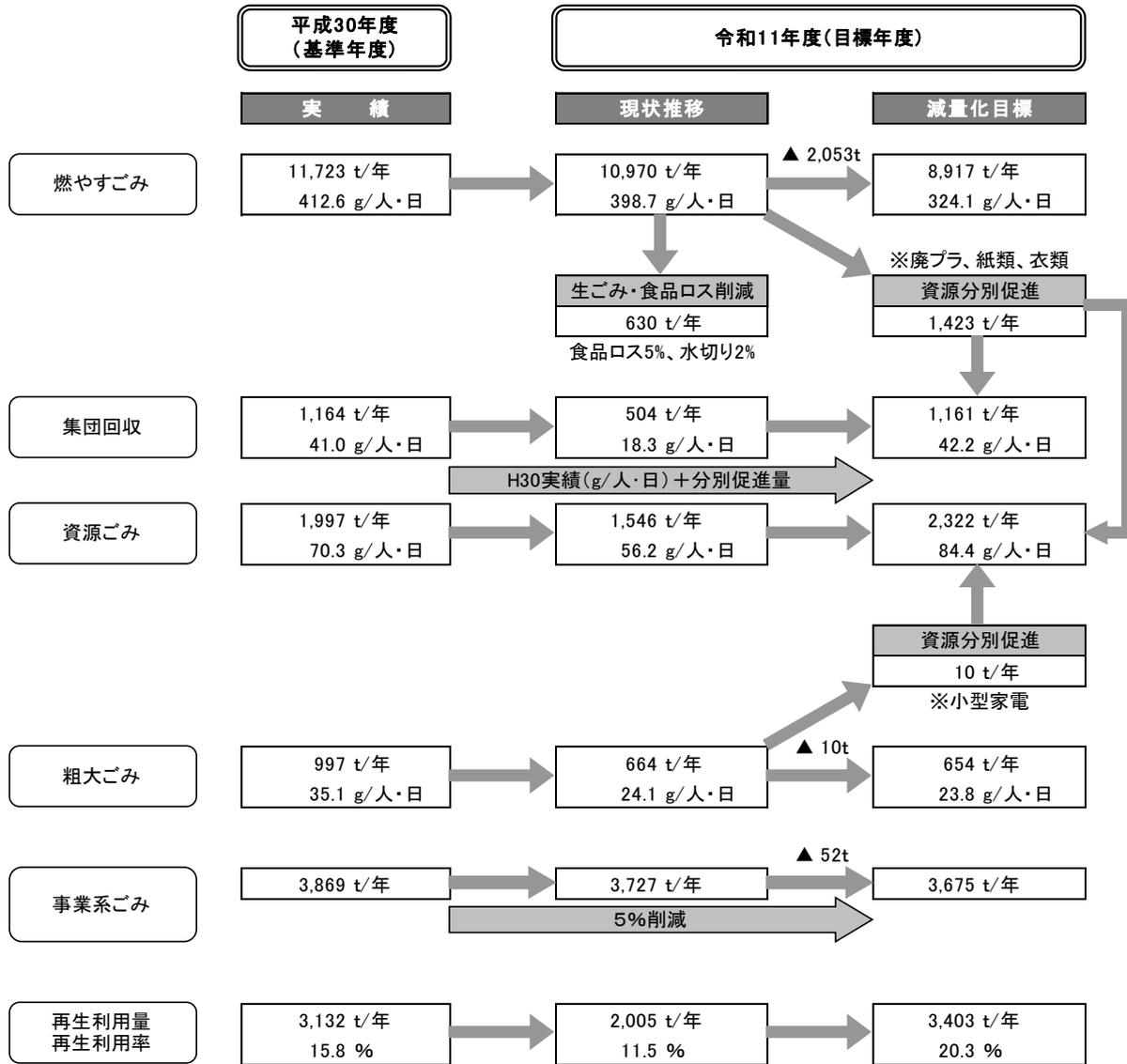


図 2-16 減量化目標値の設定

#### (1) 家庭系ごみの排出削減目標

生ごみ・食品ロスの減量及び分別排出の徹底により燃やすごみ量を削減し、目標年度の令和 11 年度には平成 30 年度の資源ごみを除く実績原単位（燃やすごみ+粗大ごみ）を 100 g（22%）削減する。

##### ①生ごみ・食品ロス減量効果

家庭系の燃やすごみのうち 50%以上残存した状態で廃棄されている食品ロス 5%の削減、水切りの徹底により 2%削減することで、令和 11 年度には平成 30 年度実績の 7%を削減する。

## ②分別排出の徹底

家庭系燃やすごみの調査結果から得られた 18.6%の容器包装等の資源ごみについて、その 20%を資源ごみとして分別することを目標とする。これにより燃やすごみを 15.4 g/人・日削減する。(表 2-9 参照)

また、粗大ごみに含まれる小型家電については分別促進を図ることで、現状の収集量 0.71 g/人・日から、全国平均(平成 28 年度 環境省資料)の 1.1 g/人・日(416 g/人・年÷365 日)に増やす。

表 2-9 資源分別促進量

品 目	組成重量比	回収率	回収量	備 考
ペットボトル	0.6%	20%	0.5 g/人・日	R11目標値:H30実績+回収量
プラスチック製容器包装	10.4%	20%	8.6 g/人・日	"
紙製容器包装、古紙	5.2%	20%	4.3 g/人・日	"
牛乳パック	1.0%	20%	0.8 g/人・日	"
衣類	1.4%	20%	1.2 g/人・日	"
小型家電			1.1 g/人・日	H28全国平均回収量(環境省資料)

注1)組成重量比:燃やすごみ全体に占める湿重量比(燃やすごみの組成調査結果)

注2)資源分別促進回収量:組成重量比(%)×回収率(%)×平成30年度燃やすごみ量412.6g/人・日

## (2) 事業系ごみの排出削減

事業者が排出する事業系一般廃棄物から、古紙類等の分別排出と食品ロスの削減及び食品残渣のリサイクル促進について、事業者への情報提供や啓発に取り組み、令和 11 年度において、平成 30 年度実績量の 5%削減することを目標とする。

図 2-16 は、減量化目標設定の概要を示したものである。

また、減量化目標によるごみ発生量及び処理量は表 2-10 及び表 2-11 に示すとおりである。

表 2-10 減量化目標によるごみ発生量

項目\年度		実績					目標											備考	
		平成26	平成27	平成28	平成29	平成30	令和1	令和2	令和3	令和4	令和5	令和6	令和7	令和8	令和9	令和10	令和11		
行政区域内人口	(人)	77,928	77,943	77,913	77,816	77,834	77,652	77,535	77,264	77,290	77,174	76,992	76,823	76,502	76,129	75,756	75,383	(1)	人口ビジョン、開発計画
年間日数	(日/年)	365	366	365	365	365	366	365	365	365	366	365	365	365	366	365	365	(2)	
家庭系ごみ	(t/年)	16,866	16,993	16,783	16,127	15,892	15,877	15,558	15,264	15,029	14,806	14,492	14,223	13,928	13,666	13,335	13,061	(3)	(5)+(9)+(47)+(49)+(55)+(57)
	(g/人・日)	593.0	595.7	590.2	567.8	559.4	559.4	549.7	541.2	532.7	524.2	515.7	507.2	498.8	490.4	482.2	474.7	(4)	(3)÷(1)÷(2)×10 <sup>6</sup>
燃やすごみ	(t/年)	11,085	11,064	10,953	11,187	11,723	11,721	11,408	11,116	10,868	10,625	10,320	10,053	9,761	9,501	9,191	8,917	(5)	予測値-(7)-(8)
	(g/人・日)	389.7	387.9	385.1	393.9	412.6	412.4	403.1	394.2	385.2	376.2	367.2	358.5	349.6	341.0	332.4	324.1	(6)	(5)÷(1)÷(2)×10 <sup>6</sup>
分別促進効果	(t/年)							161	311	461	611	755	894	1,031	1,165	1,289	1,423	(7)	
食品ロス削減効果	(t/年)							62	127	192	257	323	390	455	521	583	630	(8)	
資源ごみ	(t/年)	2,169	2,226	2,211	1,658	1,997	2,027	2,051	2,078	2,114	2,154	2,178	2,209	2,236	2,264	2,284	2,321	(9)	(11)+(27)+(35)+(37)
	(g/人・日)	76.2	78.0	77.8	58.4	70.3	71.3	72.5	73.7	74.9	76.3	77.5	78.8	80.1	81.3	82.6	84.4	(10)	(9)÷(1)÷(2)×10 <sup>6</sup>
缶・びん・乾電池	(t/年)	690	701	676	184	605	603	594	589	587	585	579	575	570	566	561	556	(11)	(12)×(1)×(2)÷10 <sup>6</sup>
	(g/人・日)	24.2	24.6	23.8	6.5	21.3	21.2	21.0	20.9	20.8	20.7	20.6	20.5	20.4	20.3	20.3	20.2	(12)	べき曲線補正値(H24~H28実績による推計)
スチール缶	(t/年)	94	91	87	36	64	63	63	62	62	62	61	61	60	60	59	59	(13)	(11)×H30[(13)/(11)]
	(g/人・日)	3.3	3.2	3.1	1.3	2.2	2.2	2.2	2.2	2.2	2.2	2.2	2.2	2.1	2.1	2.1	2.1	(14)	(13)÷(1)÷(2)×10 <sup>6</sup>
アルミ缶	(t/年)	67	65	64	30	34	34	33	33	33	33	33	32	32	32	32	31	(15)	(11)×H30[(15)/(11)]
	(g/人・日)	2.3	2.3	2.2	1.1	1.2	1.2	1.2	1.2	1.2	1.2	1.2	1.2	1.1	1.1	1.1	1.1	(16)	(15)÷(1)÷(2)×10 <sup>6</sup>
ガラスビン(無色)	(t/年)	271	266	253	40	124	124	122	121	120	120	119	118	117	116	115	114	(17)	(11)×H30[(17)/(11)]
	(g/人・日)	9.5	9.3	8.9	1.4	4.4	4.3	4.3	4.3	4.3	4.2	4.2	4.2	4.2	4.2	4.2	4.1	(18)	(17)÷(1)÷(2)×10 <sup>6</sup>
ガラスビン(茶色)	(t/年)	137	142	133	53	93	93	92	91	90	90	89	89	88	87	86	86	(19)	(11)×H30[(19)/(11)]
	(g/人・日)	4.8	5.0	4.7	1.9	3.3	3.3	3.2	3.2	3.2	3.2	3.2	3.2	3.1	3.1	3.1	3.1	(20)	(19)÷(1)÷(2)×10 <sup>6</sup>
ガラスビン(その他)	(t/年)	87	83	82	13	71	71	70	69	69	68	68	67	67	66	66	65	(21)	(11)×H30[(21)/(11)]
	(g/人・日)	3.0	2.9	2.9	0.4	2.5	2.5	2.5	2.4	2.4	2.4	2.4	2.4	2.4	2.4	2.4	2.4	(22)	(21)÷(1)÷(2)×10 <sup>6</sup>
乾電池	(t/年)	8	26	25	12	16	16	16	16	16	16	16	16	16	15	15	15	(23)	(11)×H30[(23)/(11)]
	(g/人・日)	0.27	0.92	0.86	0.41	0.58	0.58	0.57	0.57	0.57	0.56	0.56	0.56	0.56	0.55	0.55	0.55	(24)	(23)÷(1)÷(2)×10 <sup>6</sup>
可燃残渣	(t/年)	26	28	32	0	203	202	199	198	197	196	194	193	191	190	188	187	(25)	(11)×H30[(25)/(11)]
	(g/人・日)	0.9	1.0	1.1	0.0	7.1	7.1	7.0	7.0	7.0	7.0	6.9	6.9	6.9	6.8	6.8	6.8	(26)	(25)÷(1)÷(2)×10 <sup>6</sup>
廃プラ	(t/年)	1,096	1,105	1,110	1,089	1,021	1,040	1,060	1,079	1,103	1,128	1,146	1,168	1,187	1,207	1,222	1,254	(27)	(29)+(31)+(33)
	(g/人・日)	38.5	38.7	39.0	38.3	35.9	36.6	37.5	38.3	39.1	39.9	40.8	41.7	42.5	43.3	44.2	45.6	(28)	(27)÷(1)÷(2)×10 <sup>6</sup>
ペットボトル	(t/年)	71	81	81	79	71	74	74	73	73	73	73	73	73	72	72	83	(29)	(30)×(1)×(2)÷10 <sup>6</sup>
	(g/人・日)	2.5	2.9	2.9	2.8	2.5	2.6	2.6	2.6	2.6	2.6	2.6	2.6	2.6	2.6	2.6	3.0	(30)	R11:分別促進目標値0.5g+H30実績値2.5g
プラスチック製容器包装	(t/年)	995	1,001	1,000	982	897	912	931	950	973	997	1,014	1,035	1,053	1,073	1,087	1,106	(31)	(32)×(1)×(2)÷10 <sup>6</sup>
	(g/人・日)	35.0	35.1	35.2	34.6	31.6	32.1	32.9	33.7	34.5	35.3	36.1	36.9	37.7	38.5	39.3	40.2	(32)	R11:分別促進目標値8.6g+H30実績値31.6g
可燃残渣	(t/年)	30	23	29	28	53	54	55	56	57	58	59	60	61	62	63	65	(33)	(29+31)×H30[(33)/(29+31)]
	(g/人・日)	1.0	0.8	1.0	1.0	1.9	1.9	1.9	2.0	2.0	2.1	2.1	2.2	2.2	2.3	2.4	2.4	(34)	(33)÷(1)÷(2)×10 <sup>6</sup>
新聞・雑誌・ダンボール等	(t/年)	367	397	399	364	334	347	357	367	378	390	399	409	419	429	437	443	(35)	(36)×(1)×(2)÷10 <sup>6</sup>
	(g/人・日)	12.9	13.9	14.0	12.8	11.8	12.2	12.6	13.0	13.4	13.8	14.2	14.6	15.0	15.4	15.8	16.1	(36)	R11:分別促進目標値4.3g+H30実績値11.8g
拠点回収	(t/年)	16	23	26	21	37	37	40	43	46	51	54	57	60	62	64	68	(37)	(39)+(41)+(43)+(45)
	(g/人・日)	0.6	0.8	0.9	0.7	1.3	1.3	1.4	1.5	1.6	1.8	1.9	2.0	2.2	2.2	2.3	2.5	(38)	(37)÷(1)÷(2)×10 <sup>6</sup>
牛乳パック	(t/年)	15	14	13	11	9	10	12	14	16	19	21	23	25	27	29	31	(39)	(40)×(1)×(2)÷10 <sup>6</sup>
	(g/人・日)	0.52	0.50	0.45	0.38	0.33	0.34	0.42	0.50	0.58	0.66	0.74	0.82	0.90	0.98	1.06	1.13	(40)	R11:分別促進目標値0.8g+H30実績値0.33g
ダンボール	(t/年)	1	1	1	0.4	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	(41)	(42)×(1)×(2)÷10 <sup>6</sup>
	(g/人・日)	0.040	0.039	0.037	0.014	0.004	0.004	0.004	0.004	0.004	0.004	0.004	0.004	0.004	0.004	0.004	0.004	(42)	H30実績値一定推移
蛍光管	(t/年)		8	12	8	7	7	7	7	7	7	7	7	7	7	7	7	(43)	(44)×(1)×(2)÷10 <sup>6</sup>
	(g/人・日)		0.29	0.43	0.29	0.25	0.25	0.25	0.25	0.25	0.25	0.25	0.25	0.25	0.25	0.25	0.25	(44)	H30実績値一定推移
小型家電	(t/年)				2	20	20	21	22	23	25	26	27	28	28	28	30	(45)	(46)×(1)×(2)÷10 <sup>6</sup>
	(g/人・日)				0.05	0.71	0.71	0.75	0.79	0.83	0.87	0.91	0.95	0.99	1.0	1.0	1.1	(46)	R11回収量目標値:1.1g
使い捨てライター(拠点回収)	(t/年)			0.2	0.3	0.4	0.4	0.4	0.4	0.4	0.4	0.4	0.4	0.4	0.4	0.4	0.4	(47)	(48)×(1)×(2)÷10 <sup>6</sup>
	(g/人・日)			0.007	0.011	0.015	0.015	0.015	0.015	0.015	0.015	0.015	0.015	0.015	0.015	0.015	0.015	(48)	H30実績値一定推移
粗大ごみ	(t/年)	2,040	2,051	2,224	1,922	997	1,001	967	935	903	873	838	800	766	730	691	654	(49)	(51)+(53)
	(g/人・日)	71.7	71.9	78.2	67.7	35.1	35.2	34.2	33.2	32.0	30.9	29.8	28.5	27.4	26.2	25.0	23.8	(50)	(49)÷(1)÷(2)×10 <sup>6</sup>
可燃粗大ごみ	(t/年)	1,676	1,766	1,914	1,300	770	779	753	725	700	675	644	611	581	549	514	482	(51)	予測値
	(g/人・日)	58.9	61.9	67.3	45.8	27.1	27.4	26.6	25.7	24.8	23.9	22.9	21.8	20.8	19.7	18.6	17.5	(52)	予測値
不燃粗大ごみ	(t/年)	364	285	310	622	227	222	214	210	203	198	194	189	185	181	177	172	(53)	小型家電分別促進
	(g/人・日)	12.8	10.0	10.9	21.9	8.0	7.8	7.6	7.4	7.2	7.0	6.9	6.7	6.6	6.5	6.4	6.3	(54)	(53)÷(1)÷(2)×10 <sup>6</sup>
集団回収	(t/年)	1,553	1,637	1,383	1,348	1,164	1,117	1,121	1,125	1,134	1,144	1,147	1,152	1,156	1,162	1,161	1,161	(55)	(56)×(1)×(2)÷10 <sup>6</sup>
	(g/人・日)	54.6	57.4	48.6	47.4	41.0	39.3	39.6	39.9	40.2	40.5	40.8	41.1	41.4	41.7	42.0	42.2	(56)	R11分別促進目標値1.2g+H30実績値41.0g
乙辺し渣	(t/年)	19	15	12	12	11	10	10	9	9	9	8	8	8	8	7	7	(57)	べき曲線
資源ごみを除く家庭系ごみ排出量	(g/人・日)	462.2	460.3	463.8	462.0	448.1	448.8	437.6	427.6	417.6	407.4	397.4	387.3	377.3	367.4	357.6	348.1	(58)	(4)-(10)-(56) 国目標値 R7:440g、府目標値 R2:403g
事業系ごみ	(t/年)	3,997	4,048	3,807	3,877	3,869	3,869	3,850	3,831	3,812	3,793	3,774	3,755	3,736	3,717	3,698	3,675	(59)	H30実績の5%削減(R11)
ごみ発生量	(t/年)	20,863	21,041	20,590	20,004	19,761	19,746	19,408	19										

表 2-11 減量化目標によるごみ発生量及び処理量

項目\年度	実績					目標											備考		
	平成26	平成27	平成28	平成29	平成30	令和1	令和2	令和3	令和4	令和5	令和6	令和7	令和8	令和9	令和10	令和11			
家庭系ごみ	(t/年)	16,866	16,993	16,783	16,127	15,892	15,877	15,558	15,264	15,029	14,806	14,492	14,223	13,928	13,666	13,335	13,061	(1)	(2)+(3)+(22)+(23)+(33)+(40)
燃やすごみ	(t/年)	11,085	11,064	10,953	11,187	11,723	11,721	11,408	11,116	10,868	10,625	10,320	10,053	9,761	9,501	9,191	8,917	(2)	焼却処理 ※排出抑制、資源分別促進
資源ごみ	(t/年)	2,169	2,226	2,211	1,658	1,996	2,027	2,051	2,078	2,114	2,154	2,178	2,209	2,236	2,264	2,284	2,321	(3)	(4)+(12)+(16)+(17)
缶・びん・乾電池	(t/年)	690	701	676	184	605	603	594	589	587	585	579	575	570	566	561	556	(4)	(5)+(6)+(7)+(8)+(9)+(10)+(11)
スチール缶	(t/年)	94	91	87	36	64	63	63	62	62	62	61	61	60	60	59	59	(5)	資源化
アルミ缶	(t/年)	67	65	64	30	34	34	33	33	33	33	33	32	32	32	32	31	(6)	資源化
ガラスビン(無色)	(t/年)	271	266	253	40	124	124	122	121	120	120	119	118	117	116	115	114	(7)	資源化
ガラスビン(茶色)	(t/年)	137	142	133	53	93	93	92	91	90	90	89	89	88	87	86	86	(8)	資源化
ガラスビン(その他)	(t/年)	87	83	82	13	71	71	70	69	69	68	68	67	67	66	66	65	(9)	資源化
乾電池	(t/年)	8	26	25	12	16	16	16	16	16	16	16	16	16	15	15	15	(10)	資源化
可燃残渣	(t/年)	26	28	32	0	203	202	199	198	197	196	194	193	191	190	188	187	(11)	焼却処理
廃プラ	(t/年)	1,096	1,105	1,110	1,089	1,021	1,040	1,060	1,079	1,103	1,128	1,146	1,168	1,187	1,207	1,222	1,254	(12)	(13)+(14)+(15)
ペットボトル	(t/年)	71	81	81	79	71	74	74	73	73	73	73	73	73	72	72	83	(13)	資源化(収集量) ※分別促進
プラスチック製容器包装	(t/年)	995	1,001	1,000	982	897	912	931	950	973	997	1,014	1,035	1,053	1,073	1,087	1,106	(14)	資源化(収集量) ※分別促進
可燃残渣	(t/年)	30	23	29	28	53	54	55	56	57	58	59	60	61	62	63	65	(15)	焼却処理
新聞・雑誌・ダンボール等	(t/年)	367	397	399	364	334	347	357	367	378	390	399	409	419	429	437	443	(16)	資源化 ※分別促進
拠点回収	(t/年)	16	23	26	21	37	37	40	43	46	51	54	57	60	62	64	68	(17)	(18)+(19)+(20)+(21)
牛乳パック	(t/年)	15	14	13	11	9	10	12	14	16	19	21	23	25	27	29	31	(18)	資源化 ※分別促進
ダンボール	(t/年)	1	1	1	0.4	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	(19)	資源化
蛍光管	(t/年)		8	12	8	7	7	7	7	7	7	7	7	7	7	7	7	(20)	資源化
小型家電	(t/年)				2	20	20	21	22	23	25	26	27	28	28	28	30	(21)	資源化 ※分別促進
使い捨てライター(拠点回収)	(t/年)			0.2	0.3	0.4	0.4	0.4	0.4	0.4	0.4	0.4	0.4	0.4	0.4	0.4	0.4	(22)	焼却処理
粗大ごみ	(t/年)	2,040	2,051	2,224	1,922	997	1,001	967	935	903	873	838	800	766	730	691	654	(23)	(24)+(27)
可燃粗大ごみ	(t/年)	1,676	1,766	1,914	1,300	770	779	753	725	700	675	644	611	581	549	514	482	(24)	予測値
破碎焼却	(t/年)	1,662	1,758	1,914	1,300	770	779	753	725	700	675	644	611	581	549	514	482	(25)	(24)×H30[(25)/(24)]
ウエス・古布	(t/年)	14	8	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	(26)	(24)×H30[(26)/(24)]
不燃粗大ごみ	(t/年)	364	285	310	622	227	222	214	210	203	198	194	189	185	181	177	172	(27)	(28)+(29)+(30)+(31)+(32)
埋立て	(t/年)	137	66	48	324	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	(28)	予測値
金属類	(t/年)	141	132	159	202	189	185	179	176	172	168	164	160	156	153	150	145	(29)	小型家電分別促進
アルミ	(t/年)	5	4	2	7	19	18	18	18	17	17	17	16	16	16	15	15	(30)	予測値
自転車	(t/年)	23	16	16	17	15	15	14	14	14	13	13	13	13	12	12	12	(31)	予測値
家電OA雑品等	(t/年)	58	67	85	72	4	4	3	2	0	0	0	0	0	0	0	0	(32)	小型家電分別促進
集団回収量	(t/年)	1,553	1,637	1,383	1,348	1,164	1,117	1,121	1,125	1,134	1,144	1,147	1,152	1,156	1,162	1,161	1,161	(33)	資源化
古布・古着	(t/年)	111	116	101	92	101	97	100	103	106	110	113	116	120	122	125	132	(34)	(33)×H30[(34)/(33)]+分別促進
ダンボール	(t/年)	192	322	175	229	175	168	168	168	169	170	170	170	170	171	170	169	(35)	(33)×H30[(35)/(33)]
新聞・雑誌	(t/年)	1,222	1,161	1,081	1,000	861	826	827	828	833	838	838	840	840	843	840	834	(36)	(33)×H30[(36)/(33)]
紙製パック	(t/年)	3	3	2	3	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	(37)	(33)×H30[(37)/(33)]
アルミ缶	(t/年)	24	33	23	23	23	22	22	22	22	22	22	22	22	22	22	22	(38)	(33)×H30[(38)/(33)]
スチール缶・鉄くず	(t/年)	1	2	1	1	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	(39)	(33)×H30[(39)/(33)]
乙辺し渣	(t/年)	19	15	12	12	11	10	10	9	9	9	8	8	8	8	7	7	(40)	焼却処理
事業系ごみ	(t/年)	3,997	4,048	3,807	3,877	3,869	3,869	3,850	3,831	3,812	3,793	3,774	3,755	3,736	3,717	3,698	3,675	(41)	
燃やすごみ	(t/年)	3,997	4,048	3,807	3,877	3,869	3,869	3,850	3,831	3,812	3,793	3,774	3,755	3,736	3,717	3,698	3,675	(42)	焼却処理 ※5%削減
ごみ排出量	(t/年)	19,310	19,404	19,207	18,656	18,597	18,629	18,287	17,970	17,707	17,455	17,119	16,826	16,508	16,221	15,872	15,575	(43)	(2)+(3)+(22)+(23)+(40)+(42)
ごみ発生量	(t/年)	20,863	21,041	20,590	20,004	19,761	19,746	19,408	19,095	18,841	18,599	18,266	17,978	17,664	17,383	17,033	16,736	(44)	(33)+(43)
焼却処理量	(t/年)	16,819	16,936	16,748	16,404	16,629	16,636	16,276	15,935	15,643	15,357	15,000	14,680	14,339	14,027	13,662	13,333	(45)	(2)+(11)+(15)+(22)+(25)+(40)+(42)
焼却残渣量	(t/年)	2,179	2,179	2,150	1,455	1,748	1,749	1,711	1,675	1,644	1,614	1,577	1,543	1,507	1,475	1,436	1,402	(46)	(45)×H30[(46)/(45)]
資源化量	(t/年)	2,354	2,402	2,412	1,928	1,968	1,993	2,011	2,034	2,063	2,098	2,119	2,145	2,169	2,193	2,210	2,241	(47)	(5~10)+(13)+(14)+(16)+(17)+(26)+(29~32)
再生利用量	(t/年)	3,907	4,039	3,794	3,276	3,132	3,110	3,132	3,159	3,197	3,242	3,266	3,297	3,325	3,355	3,371	3,402	(48)	(47)+(33)
再生利用率	(%)	18.7%	19.2%	18.4%	16.4%	15.8%	15.7%	16.1%	16.5%	17.0%	17.4%	17.9%	18.3%	18.8%	19.3%	19.8%	20.3%	(49)	(48)÷(44)×100
最終処分量	(t/年)	2,316	2,245	2,198	1,779	1,748	1,749	1,711	1,675	1,644	1,614	1,577	1,543	1,507	1,475	1,436	1,402	(50)	(51)+(52)
不燃残渣等	(t/年)	137	66	48	324	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	(51)	=(28)
焼却残渣	(t/年)	2,179	2,179	2,150	1,455	1,748	1,749	1,711	1,675	1,644	1,614	1,577	1,543	1,507	1,475	1,436	1,402	(52)	=(46)

## 資料3 アンケート調査

基本計画策定にあたり、市民のごみ問題に対する意識や取り組みなどについて、アンケート調査を実施した。アンケート調査の概要は次のとおり。

### 1 アンケート調査の概要

本市在住の20歳以上の中から、無作為に2,000人を抽出しアンケート調査を行った。アンケート調査数については、以下のような検討を行った上で2,000人とした。

統計学上の見地から、母集団数Nに対して必要な「標本数n」は、一般的に以下の式で求められる。

$$n \geq \frac{N}{\left(\frac{b}{1.96}\right)^2 \times \frac{N+1}{P(P-1)} + 1} \doteq \frac{1.96^2 \cdot P(P-1)}{b^2}$$

b：標本誤差、P：回答比率（P=0.5でnが最大）

参考）「1.96」は、信頼水準によって定まる値で、通常のケースでは、信頼度95%に対応した「1.96」が採用される。

（平成16年度版「統計実務基礎知識」：総務省統計局統計基準部監修より）

ここで、標本誤差とは、例えば「サンプル数100、回答割合が50%」の場合、誤差は±10%と計算される。これは、この回答割合の真の値は40～60%（50±10%）の間に含まれることを意味する。

本アンケート調査では、標本誤差が3%台程度になるように、設定範囲ごとの必要サンプル数を設定する。（政府機関及び政府関連機関にて実施される世論調査では、結果として、標本誤差は1～3%台程度となっている。）

表3-1 標本誤差

		回答比率 P				
		10%	20%	30%	40%	50%
標本数 n	250	3.7%	5.0%	5.7%	6.1%	6.2%
	500	2.6%	3.5%	4.0%	4.3%	4.4%
	750	2.2%	2.9%	3.3%	3.5%	3.6%
	1000	1.9%	2.5%	2.9%	3.1%	3.1%
	1250	1.7%	2.2%	2.6%	2.7%	2.8%
	1500	1.5%	2.0%	2.3%	2.5%	2.6%
	1750	1.4%	1.9%	2.2%	2.3%	2.4%
	2000	1.3%	1.8%	2.0%	2.2%	2.2%

表3-1において、最も誤差の大きくなる回答比率50%において、標本誤差が3%程度に該当する標本数は、1,000となる。

以上により、回収率を約50%と想定し、標本数1,000とするために、アンケート調査数を2,000とした。

このアンケートは、市民のごみ問題に対する意識や取り組みなどについて調査するものである。アンケート調査の概要は次のとおりである。

(1) 無作為抽出数	2,000 件
受取人転居等	4 件
アンケート調査対象数	1,996 件
(2) アンケート調査方法	郵送にて送付・返送
(3) 調査期間	8月16日～8月31日まで
(4) アンケート回収数	745 件

#### (1) アンケート調査対象数

前述のとおり、本市在住の20歳以上の中から無作為に2,000人を抽出し、アンケートを送付した。

送付したアンケートに対し、受取人転居等が4件あったため、これらはアンケート調査対象から除外するため、最終的なアンケート調査対象数は1,996件となった。

#### (2) アンケート調査方法

アンケート調査は、郵送により送付・返送する方法とした。

#### (3) 調査期間

調査期間は、アンケートの送付から2週間として、8月16日～8月31日の期間で実施した。

## 2 アンケート調査結果

アンケート回収数は745件となり、抽出数に対する回収率は37.3%で、標本誤差は約3.5%となった。

次に、アンケート調査結果の概要を示す。アンケートの結果に関しては、平成19年度に実施した調査結果との対比も併せて示す。

問1-1 ごみ問題にどの程度関心がありますか

問1-1	平成19年	令和元年	増減
1 非常に関心がある	24.2%	18.9%	-5.3%
2 ある程度関心がある	68.0%	68.3%	0.3%
3 あまり関心がない	4.7%	9.9%	5.2%
4 全く関心がない	0.2%	0.8%	0.6%
5 わからない	1.0%	1.5%	0.5%
無回答	1.9%	0.6%	-1.3%
合計	100.0%	100.0%	

問1-2 ごみ問題や環境問題に関する情報や知識を主にどこから得ていますか

(複数回答)

問1-2	平成19年	令和元年	増減
1 テレビ・ラジオ	85.6%	63.5%	-22.1%
2 インターネット	8.7%	26.3%	17.6%
3 新聞	64.1%	26.7%	-37.4%
4 書籍、雑誌	13.2%	3.2%	-10.0%
5 交野市の広報や回覧板	61.3%	50.7%	-10.6%
6 友人、知人、家族	19.2%	12.1%	-7.1%
7 地域のコミュニティ誌	6.6%	4.0%	-2.6%
8 講演会などの催し	2.9%	0.9%	-2.0%
9 職場の機関紙、掲示板、パンフレット	5.8%	1.9%	-3.9%
10 自治会や町内会などの活動を通じて	18.7%	7.1%	-11.6%
11 市民団体やサークル活動を通じて	4.4%	1.7%	-2.7%
12 どこからも得ていない	0.5%	1.2%	0.7%
13 その他	1.4%	1.2%	-0.2%

問1-3 ごみを減らしたりリサイクルをすることで資源を有効に活用する社会

(循環型社会) にしていくことについてどのように思いますか (複数回答)

問1-3	平成19年	令和元年	増減
1 現在の生活水準が落ちることにはつながらないためすべきである	22.5%	27.7%	5.2%
2 現在の生活水準が多少落ちることになってもしっかりすべきである	25.8%	24.7%	-1.1%
3 物質的な豊かさや便利さを失わずごみを減らしたりリサイクルを積極的に進めればよい	33.8%	42.6%	8.8%
4 天然資源がなくなってくるのであれば仕方がない	8.7%	7.8%	-0.9%
5 物質的な豊かさや便利さを失うことであり受け入れられない	0.1%	0.1%	0.0%
6 循環型社会とは、どのような社会なのかよくわからない	3.5%	3.5%	0.0%
7 その他	1.0%	2.0%	1.0%
無回答	4.6%	0.9%	-3.7%

問1-4 環境保全に関する講演会・催しや植樹・リサイクル活動・美化・清掃活動  
などに参加したことがありますか（複数回答）

問1-4	平成19年	令和元年	増減
1 積極的に参加している	4.2%	15.2%	11.0%
2 参加したことはあるがこれからは参加したいとは思わない	4.5%	7.1%	2.6%
3 これまでに参加したことはないがこれからは機会があれば参加したいと思う	32.5%	37.6%	5.1%
4 これまでに参加したことはなくこれからも参加したいとは思わない	9.4%	18.4%	9.0%
5 わからない	7.1%	12.1%	5.0%
6 その他	4.5%	9.0%	4.5%
無回答	2.1%	1.7%	-0.4%

問1-5 家庭や事業者（外食産業含む）から発生している食品ロス・  
（食べ物の廃棄や食べ残し）が問題となっていることをご存知ですか  
（複数回答）

問1-5	平成19年	令和元年
1 知っており積極的に対策も行っている	/	34.2%
2 知っているが対策はしていない		57.7%
3 これまでに聞いたことはないがこれからは対策をしたいと思う		3.9%
4 これまでに聞いたことはなくこれからも対策をしようとは思わない		0.4%
5 わからない		2.3%
6 その他		0.9%
7 無回答		0.5%

問2-1 日頃ごみの「発生抑制（リデュース）」のために  
心がけていることはありますか

1 使い捨て製品を買わない

問2-1-1	平成19年	令和元年	増減
A いつもやっている	7.3%	5.6%	-1.7%
B よくやっている	24.2%	20.9%	-3.3%
C たまにやっている	38.3%	36.0%	-2.3%
D あまりやっていない	19.5%	25.4%	5.9%
E まったくやっていない	4.0%	7.0%	3.0%
F わからない	2.2%	2.1%	-0.1%
無回答	4.5%	3.0%	-1.5%
合計	100.0%	100.0%	

2 レジ袋などをもらわないようにしたり（買い物袋持参）簡易包装を店に求めている

問2-1-2	平成19年	令和元年	増減
A いつもやっている	19.0%	25.1%	6.1%
B よくやっている	28.9%	31.6%	2.7%
C たまにやっている	27.0%	24.8%	-2.2%
D あまりやっていない	13.4%	11.4%	-2.0%
E まったくやっていない	9.6%	5.8%	-3.8%
F わからない	0.2%	0.4%	0.2%
無回答	1.9%	0.9%	-1.0%
合 計	100.0%	100.0%	

3 生ごみを堆肥にしている

問2-1-3	平成19年	令和元年	増減
A いつもやっている	5.8%	2.4%	-3.4%
B よくやっている	4.2%	3.1%	-1.1%
C たまにやっている	8.8%	5.3%	-3.5%
D あまりやっていない	10.5%	10.7%	0.2%
E まったくやっていない	67.5%	74.9%	7.4%
F わからない	0.6%	1.6%	1.0%
無回答	2.6%	2.0%	-0.6%
合 計	100.0%	100.0%	

4 シャンプーやリンスなど詰め替え製品を使う

問2-1-4	平成19年	令和元年	増減
A いつもやっている	59.5%	64.6%	5.1%
B よくやっている	25.7%	24.6%	-1.1%
C たまにやっている	8.0%	7.0%	-1.0%
D あまりやっていない	3.5%	2.1%	-1.4%
E まったくやっていない	1.2%	0.8%	-0.4%
F わからない	0.3%	0.1%	-0.2%
無回答	1.8%	0.8%	-1.0%
合 計	100.0%	100.0%	

5 マイ箸の携帯など割り箸を使わないようにしている

問2-1-5	平成19年	令和元年
A いつもやっている	/	10.3%
B よくやっている		12.6%
C たまにやっている		22.6%
D あまりやっていない		23.1%
E まったくやっていない		29.1%
F わからない		0.9%
無回答		1.4%
合 計		100.0%

問3-1 日頃行っている生ごみの処理方法を全て選んでください（複数回答）

問3-1	平成19年	令和元年	増減
1 ごみとして出している	91.4%	96.2%	4.8%
2 畑や庭に埋めている	13.8%	6.2%	-7.6%
3 堆肥化容器（コンポストなど）で肥料にしている	3.5%	0.8%	-2.7%
4 電気式生ごみ処理機で処理している	1.5%	0.3%	-1.2%
5 ディスポーザー（生ごみを砕いて水と一緒に下水道に流す機械）を使っている	0.3%	0.0%	-0.3%
6 わからない	0.4%	0.4%	0.0%
7 その他	1.4%	1.3%	-0.1%

問3-2 生ごみを出すときに水切りネットなどで最後にひとしぼりしていますか（複数回答）

問3-2	平成19年	令和元年	増減
1 している	68.7%	77.9%	9.2%
2 していない	25.6%	16.9%	-8.7%
3 生ごみは出さない	1.6%	0.7%	-0.9%
4 わからない	1.3%	2.8%	1.5%
5 その他	1.8%	2.0%	0.2%
無回答	1.0%	1.1%	0.1%

問3-3 日頃から実践している生ごみを出さないための工夫や努力について  
あてはまるものをそれぞれ1つ選んでください・

1 必要な分だけ考えて買う

問3-3-1	平成19年	令和元年	増減
A いつもやっている	37.7%	41.3%	3.6%
B よくやっている	40.7%	40.1%	-0.6%
C たまにやっている	12.5%	10.1%	-2.4%
D あまりやっていない	4.3%	5.2%	0.9%
E まったくやっていない	1.2%	1.0%	-0.2%
F わからない	1.4%	1.1%	-0.3%
無回答	2.2%	1.2%	-1.0%
合計	100.0%	100.0%	

2 料理は人数分食べきれる量だけ作る

問3-3-2	平成19年	令和元年	増減
A いつもやっている	41.2%	44.8%	3.6%
B よくやっている	41.3%	38.0%	-3.3%
C たまにやっている	8.6%	9.0%	0.4%
D あまりやっていない	4.8%	4.7%	-0.1%
E まったくやっていない	0.8%	1.0%	0.2%
F わからない	1.4%	1.7%	0.3%
無回答	1.9%	0.8%	-1.1%
合計	100.0%	100.0%	

3 芯や皮も料理に使う

問3-3-3	平成19年	令和元年	増減
A いつもやっている	7.2%	8.7%	1.5%
B よくやっている	14.5%	15.0%	0.5%
C たまにやっている	32.7%	32.3%	-0.4%
D あまりやっていない	29.2%	29.3%	0.1%
E まったくやっていない	11.9%	12.0%	0.1%
F わからない	1.8%	1.9%	0.1%
無回答	2.7%	0.8%	-1.9%
合計	100.0%	100.0%	

4 残り物をできるだけ使う

問3-3-4	平成19年	令和元年	増減
A いつもやっている	28.0%	31.4%	3.4%
B よくやっている	43.2%	41.1%	-2.1%
C たまにやっている	19.3%	18.7%	-0.6%
D あまりやっていない	3.8%	5.0%	1.2%
E まったくやっていない	1.4%	1.2%	-0.2%
F わからない	1.5%	1.6%	0.1%
無回答	2.8%	1.0%	-1.8%
合計	100.0%	100.0%	

5 冷凍保存をうまく使う

問3-3-5	平成19年	令和元年	増減
A いつもやっている	32.5%	37.4%	4.9%
B よくやっている	34.6%	35.8%	1.2%
C たまにやっている	22.1%	16.7%	-5.4%
D あまりやっていない	5.6%	5.5%	-0.1%
E まったくやっていない	1.6%	1.8%	0.2%
F わからない	1.3%	1.2%	-0.1%
無回答	2.3%	1.6%	-0.7%
合計	100.0%	100.0%	

6 腐らせたり食材を捨てることのないようにする

問3-3-6	平成19年	令和元年	増減
A いつもやっている	32.0%	36.0%	4.0%
B よくやっている	43.9%	41.2%	-2.7%
C たまにやっている	16.5%	15.6%	-0.9%
D あまりやっていない	3.5%	4.4%	0.9%
E まったくやっていない	0.9%	0.8%	-0.1%
F わからない	1.2%	0.9%	-0.3%
無回答	2.0%	1.1%	-0.9%
合計	100.0%	100.0%	

7 食べ残しがないようにする

問3-3-7		平成19年	令和元年
A	いつもやっている	/	47.0%
B	よくやっている		38.3%
C	たまにやっている		10.6%
D	あまりやっていない		2.1%
E	まったくやっていない		0.4%
F	わからない		0.7%
	無回答		0.9%
合 計			100.0%

問4-1 平成29年の10月から交野市では粗大ごみの一部有料化がはじまりましたが、ごみを減らすための経済的な手法として、ごみを出す量に応じて各家庭が費用を負担する「ごみの有料化」についてお聞きします。

「ごみの有料化」についてどのように思いますか（複数回答）

問4-1		平成19年	令和元年	増減
1	ごみを減らすことにつながる	39.8%	38.5%	-1.3%
2	ごみを出す量に応じた費用負担となるため公平である	23.4%	39.9%	16.5%
3	ごみ処理費用の財源の確保が期待できる	11.9%	25.9%	14.0%
4	ごみの不法投棄につながるおそれがある	73.9%	53.2%	-20.7%
5	ごみを減らすことに効果があるかどうか疑わしい	21.7%	23.9%	2.2%
6	ごみを減らすにはリサイクルの徹底など有料化以外の手段を取ることも必要である	38.5%	31.3%	-7.3%
7	ごみが出るのはお店や業者の過剰な包装にも原因があると思われるので事業者に努力を求めべき	49.9%	27.2%	-22.7%
8	もともと行政の財源で負担しているのだから市民が処理費用を別に負担する必要はない	18.3%	10.5%	-7.8%
9	ごみ処理費用は電気代や上下水道代と同様に出す量に応じた負担にするべき	-	6.6%	/
10	その他	6.7%	4.8%	-1.9%

※平成19年度調査は設問9はなし（問文章も異なる）

問5-1 ごみを資源として集めるためには、ごみを細かく分けて出す必要があります。  
 こうしたごみの分別についてお伺いします。  
 あなたの考えに近いものを1つ選んでください

問5-1	平成19年	令和元年	増減
1 分ければ資源なので細かく分けることは賛成である	14.4%	20.3%	5.9%
2 分け方がわかりやすければ賛成である	43.5%	53.8%	10.3%
3 ごみの収集回数が多くなるのであれば賛成である	7.1%	10.2%	3.1%
4 収集費用のことも考えて分ける数がちょうど良ければ賛成である	6.6%	9.5%	2.9%
5 現在のままでいいので反対である	6.6%	9.0%	2.4%
6 ごみを出すまで分けて置いておく場所がないので反対である	2.6%	2.3%	-0.3%
7 分けて置いておく場所の管理が大変なので反対である	2.1%	1.9%	-0.2%
8 分ける数が増えるほど収集費用がかかるので反対である	2.4%	2.8%	0.4%
9 わからない	0.8%	2.0%	1.2%
10 その他	1.6%	3.6%	2.0%
無回答	12.2%	1.2%	-11.0%

※複数回答が含まれているため、合計が100%にならない

問5-2 次の内知っているものを全て選んでください（複数回答）

問5-2	平成19年	令和元年
1 燃やすごみは何曜日に出すかとその出し方	/	95.4%
2 有料粗大ごみの出し方		74.9%
3 自転車は環境事業所に無料で持ち込める		40.1%
4 なべ やかん フライパンなどは粗大ごみで出す		68.2%
5 ごみを出すことが困難な方のためのまごころダイレクト収集		11.4%
6 市の施設などにライターの回収ボックスがある		25.0%
7 小型家電をパソコンと一緒に出すと宅配業者が無料で引き取りに来るサービスが有る		16.0%
8 有料品目の家電製品でも小型家電回収ボックスに入れることができれば無料になる		39.6%
9 在宅医療廃棄物の戸別収集サービス		8.6%

問6-1 ごみの減量化やリサイクルを市民のみなさんに定着させるためには、  
 行政はどのような対策を行えばよいと思いますか  
 今後の行政の施策として必要だと思うものを全て選んでください（複数回答）

問6-1	平成19年	令和元年	増減
1. 子どもの頃からごみ問題について環境教育を行いごみ問題への意識を育む	65.6%	66.3%	0.7%
2. 大人を対象とした環境学習広報活動を充実し市民の意識を高める	32.6%	35.0%	2.4%
3. 子どもと大人が協力してごみの減量化やリサイクルの活動を続けられる環境づくりを支援する	48.7%	52.6%	3.9%
4. 事業者と連携してごみ減量・リサイクルを支援する お店情報を市民に提供する	38.1%	38.7%	0.6%
5. ごみ減量化対策としてごみの有料化を進める	5.9%	6.7%	0.8%
6. ごみ問題を解決するために新しく税金を導入する	0.9%	2.0%	1.1%
7. 行政はさらにごみを分別回収し再生利用する仕組みを整備する	30.0%	21.6%	-8.4%
8. その他	5.0%	5.0%	0.0%

問6-2 交野市の一般廃棄物（ごみ）の処理に関する取組み等についてとりまとめた  
 交野市一般廃棄物（ごみ）処理基本計画についてご存知ですか・

問6-2	平成19年	令和元年
1. 知っている	/	13.3%
2. 知らない		80.8%
無回答		5.9%
合計		100.0%

問7-1 本市と四條畷市がごみ処理を共同で行っていることをご存じですか

問7-1	平成19年	令和元年	増減
1. 知っている	57.6%	54.0%	-3.6%
2. 知らない	41.4%	45.1%	3.7%
無回答	1.0%	0.9%	-0.1%
合計	100.0%	100.0%	

問7-2 現在本市のごみを焼却処理している施設の場所をご存じですか

問7-2	平成19年	令和元年	増減
1. 知っている	42.0%	47.8%	5.8%
2. 知らない	56.7%	51.1%	-5.6%
無回答	1.3%	1.1%	-0.2%
合計	100.0%	100.0%	

問7-3 本市のごみを焼却処理している施設が平成29年に新しく建てられたことをご存じですか

問7-3	平成19年	令和元年
1 知っている	/	50.1%
2 知らない		49.1%
無回答		0.8%
合計		100.0%

問7-4 あなたは平成29年まで本市のごみを焼却処理していた施設の場所をご存じですか

問7-4	平成19年	令和元年
1 知っている	/	28.5%
2 知らない		70.6%
無回答		0.9%
合計		100.0%

問1 あなたの性別をお答えください

問1	平成19年	令和元年	増減
1 男性	27.2%	32.3%	5.1%
2 女性	71.8%	67.4%	-4.4%
無回答	1.0%	0.3%	-0.7%
合 計	100.0%	100.0%	

問2 あなたの年齢をお答えください

問2	平成19年	令和元年	増減
1 20歳代	7.0%	9.1%	2.1%
2 30歳代	17.0%	14.7%	-2.3%
3 40歳代	16.9%	18.3%	1.4%
4 50歳代	22.6%	25.2%	2.6%
5 60歳代	23.9%	13.4%	-10.5%
6 70歳以上	11.5%	19.2%	7.7%
無回答	1.1%	0.1%	-1.0%
合 計	100.0%	100.0%	

問3 同居しているご家族はあなたを含めて何人ですか

問3	平成19年	令和元年	増減
1 1人	7.3%	7.0%	-0.3%
2 2人	26.1%	28.5%	2.4%
3 3人	26.1%	30.1%	4.0%
4 4人	24.3%	23.9%	-0.4%
5 5人	9.0%	7.2%	-1.8%
6 6人	4.2%	2.3%	-1.9%
7 7人以上	1.8%	0.5%	-1.3%
無回答	1.2%	0.5%	-0.7%
合 計	100.0%	100.0%	

問4 あなたのお住まいの形態をお答えください

問4	平成19年	令和元年	増減
1 一戸建て・長屋	78.1%	78.5%	0.4%
2 ハイツ、アパート、マンションなどの共同住宅	18.1%	20.4%	2.3%
3 店舗（事務所等）付き住宅	1.1%	0.7%	-0.4%
4 その他	1.4%	0.1%	-1.3%
無回答	1.3%	0.3%	-1.0%
合 計	100.0%	100.0%	

問5 あなたのお住まいの地区をお答えください

問5	平成19年	令和元年	増減
1 郡津	6.6%	10.6%	4.0%
2 私部	12.3%	11.9%	-0.4%
3 梅が枝	1.8%	2.3%	0.5%
4 松塚	2.7%	1.9%	-0.8%
5 倉治	11.6%	8.7%	-2.9%
6 寺	1.0%	1.1%	0.1%
7 大字森	0.0%	0.3%	0.3%
8 傍示	0.1%	0.0%	-0.1%
9 私市	6.6%	6.3%	-0.3%
10 星田	12.6%	11.6%	-1.0%
11 天野が原町	4.5%	4.8%	0.3%
12 藤が尾	4.7%	5.3%	0.6%
13 妙見坂	4.7%	2.9%	-1.8%
14 妙見東	2.3%	1.9%	-0.4%
15 幾野	6.0%	5.6%	-0.4%
16 私市山手	2.3%	2.6%	0.3%
17 星田山手	2.9%	2.1%	-0.8%
18 南星台	2.4%	2.7%	0.3%
19 青山	1.4%	0.8%	-0.6%
20 向井田	2.0%	1.9%	-0.1%
21 寺南野	0.0%	0.0%	0.0%
22 森南	0.0%	2.0%	2.0%
23 森北	0.0%	0.3%	0.3%
24 神宮寺	0.0%	1.5%	1.5%
25 東倉治	0.0%	1.9%	1.9%
26 私部西	0.0%	3.1%	3.1%
27 私部南	0.0%	1.5%	1.5%
28 星田北	0.0%	1.1%	1.1%
29 星田西	3.4%	3.0%	-0.4%
30 駅前住宅	0.8%	0.0%	-0.8%
31 行殿	0.3%	0.0%	-0.3%
32 紫野	0.5%	0.0%	-0.5%
33 浜の池	0.0%	0.0%	0.0%
34 森	2.8%	0.0%	-2.8%
35 わからない	0.5%	0.0%	-0.5%
無回答	3.2%	0.3%	-2.9%
合 計	100.0%	100.0%	

## **F 6 ごみに関するご意見、ご要望、アイデアなどありましたら、お聞かせください。**

### **(1) 4 Rに関する自由意見 48 件**

- 7 件 市民一人ひとりがごみ問題に関心を持つことが重要。
- 13 件 環境教育や市民への情報提供、啓発等が重要。
- 5 件 事業者の取り組みが必要。(過剰包装の抑制、廃家電の引き取りなど)
- 5 件 生ごみの堆肥化容器、機械の補助制度希望。
- 2 件 食品ロス削減の取り組みが必要。(子ども食堂、学校給食残飯対策など)
- 1 件 店頭回収、拠点回収を増やしてほしい。
- 4 件 リユースの取り組みが必要。(フリーマーケットの開催、リサイクルショップの活用など)
- 6 件 現状のリサイクルに疑問(リサイクルは本当にエコなのか、廃プラリサイクルに疑問など)
- 5 件 有料化の推奨。(指定ごみ袋導入など)

### **(2) 分別、収集等に関する自由意見 96 件**

- 11 件 ごみの回収時間、回数に対する要望。(回収時間が遅い、缶・ビン回収回数を増やしてほしいなど)
- 7 件 ごみ置き場の改善。(カラス対策など)
- 2 件 分別区分の変更。(プラ容器を燃やすごみに、ペットボトルとプラ容器を分けるなど)
- 12 件 ごみの出し方・分別マナーの向上が必要。
- 18 件 ごみの分別区分、出し方が分かりにくい。(パンフレットの改善など)
- 16 件 粗大ごみ収集に対する不満。(電話申し込みの土日対応・ネット対応、高齢者への配慮など)
- 9 件 ごみ収集の支払方法、有料化に対する不満。
- 12 件 感謝している。よくやっていると思う。協力したい。
- 2 件 回収業者による資源ごみの横取りについて。
- 5 件 不法投棄に対する苦情など。
- 2 件 その他(ごみ収集の民営化、戸別収集の導入など)

### **(3) 中間処理に関する自由意見 3 件**

- 2 件 ごみ処理施設のアミューズメントパーク化、熱エネルギーの有効利用(温泉施設)など。
- 1 件 有害物質が出ないよう厳重な対策と監視。

### **(4) アンケートに関する自由意見 5 件**

- 1 件 アンケートに回答して、気づかされることがあった。
- 4 件 アンケートへの不満(わかりにくいなど)

### **(5) その他 12 件**

### 3 考察

#### 1 ごみ問題や環境問題について

ごみ問題への関心については、「関心がある」と答えた方が87.2%であるが、前回調査に比べて「非常に関心がある」と答えた方が僅かに減り、「関心がない」と答えた方が僅かに増えており、ごみ問題への関心度は高いものの、前回調査に比べて僅かではあるが低下が見られた。

情報や知識を得る手段として、前回調査と同様に「テレビ・ラジオ」と答えた方が最も多く、前回調査に比べて「インターネット」と答えた方が増えているが、それ以外はいずれも減っており、特に「新聞」と答えた方は半分以下に減っている。

「問 1-2. ごみ問題や環境問題に関する情報や知識を主にどこから得ていますか」の回答における「インターネット」と「交野市の広報や回覧板」の世代別回答率（表 3-2）では、「インターネット」は平成 19 年度調査（8.7%）から令和元年度調査（26.3%）にかけて大きく増加しており、スマートフォンの普及などにより、インターネット利用が増大し、情報を得る媒体が紙から移りつつあることがうかがわれる結果となった。年代別では 20 代及び 40 代は 40%、30 代は 50%にのぼり、70 歳以上では 1%であったが、（表 3-2）40 歳代以上では交野市の広報や回覧板の方がインターネットより高い結果となった。

今後はこうした世代ごとの広報媒体の活用傾向に注意するとともに、急速に広がってきているインターネットの利用環境をどのように活用していくのかを検討する必要があると考えられる。

表 3-2 ごみ問題や環境問題に関する情報の世代別回答率（インターネット及び広報）

	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳以上
インターネット	38%	50%	39%	25%	16%	1%
交野市の広報や回覧板	24%	36%	50%	46%	64%	75%

また、循環型社会への取り組みについては、前回調査に比べて「推進すべき」と答えた方が僅かに増えているものの、「物質的な豊かさや便利さを失わずごみを減らしたりリサイクルを積極的に進めればよい」が前回に引き続き多く、ライフスタイルを見直すことの難しさがうかがえる結果となった。

講演会・催しや活動などへの参加については、「積極的に参加している」と、「参加したいとは思わない」の両方増えているものの、依然として最も多い回答が、「機会があれば参加したい」であることから、参加機会の拡充や周知について検討する必要がある。

食品ロス問題については、「積極的に対策も行っている」と答えた方が約 34%あり、また、「知っているが対策はしていない」と答えた方は約 58%と食品ロスについての認知状況は 90%以上に及ぶことから、知っていることを行動に移していくための働きかけについて検討する必要がある。

## 2 ごみの減量や環境を考えた行動について

使い捨て製品を買わないことについては「やっている（いつも・よく・たまに）」と答えた方は7.3%減っているものの、レジ袋削減及び簡易包装の要求と詰め替え製品の使用については、「やっている」と答えた方の割合がそれぞれ6.6%と、3.0%増え、今回の調査結果でもレジ袋の削減や簡易包装の要求では81.5%、詰め替え商品の使用に至っては96.2%と高く、これまでのマイバッグキャンペーンなどによる啓発効果を含め、環境に配慮した購買意識の普及がうかがわれる結果となった。

## 3 調理くずや食べ残しについて

生ごみの処理方法は、前回調査と同様に「ごみとして出している」と答えた方が96.2%と最も多く、生ごみを出すときのひとしぼりについては、「している」と答えた方が77.9%で前回調査よりも増えている。

必要な分だけを買うこと、料理は食べきれぬ量だけ作ること、残り物をできるだけ使うこと、冷凍保存をうまく使うこと及び腐らせたり食材を捨てることのないようにすることについては、「やっている（いつも・よく・たまに）」と答えた方がいずれも前回調査に比べて増加するとともに約90%を超えてなお微増しており、また、芯や皮も料理に使うことについても「やっている（いつも・よく・たまに）」と答えた方は前回比では最も増加し56%と半数を超えてきている。

このように、生ごみの大半はごみとして出されているものの、水切り（ひとしぼり）や食品ロス削減の取り組みなど、生ごみ減量化についての意識が高いことがうかがわれる結果となっており、こうした高い意識をいかにして生ごみのさらなる削減に繋げることができかが今後の課題になると考えられる。

## 4 ごみの有料化について

「ごみの減量化につながる」、「費用負担による公平性がある」、「ごみ処理財源の確保」の肯定的な回答率の合計は75.1から110.9と増加し、「不法投棄につながるおそれがある」などの否定的な回答率の合計は202.3から146.1に減少していることから、ごみの排出区分の変更と粗大ごみの一部有料化に際して実施した説明会や、ごみゼロの日の啓発とそれに併せた不法投棄の一斉撤去活動といった周知啓発活動などによる効果がうかがわれる結果となった。

## 5 ごみの分別収集について

ごみの分別について、「分け方がわかりやすければ賛成」と答えた方が最も多く、前回調査に比べて他の賛成回答も増えていることから、ごみの分別が生活に定着してきていることがうかがわれる結果となった。

また、平成29年10月から排出方法が変わった「なべ やかん フライパン」の出し方については68.2%と高く、事前の説明会や広報活動の効果が見られる結果となったほか、小型家電の拠点回収と事業所での自転車の無料引き取り認知度が約40%に上るのに対して、

「まごころダイレクト収集」と「在宅医療廃棄物の戸別収集サービス」の回答率ではどちらも10%前後の認知率であったことから、このようなサービスが必要となったときに利用に繋がっていく周知方法などについての検討が必要と考えられる。

## 6 行政の施策について

今後の必要な行政施策については、前回調査と同様に「子どもの頃からの環境教育」と答えた方が最も多かったが、「子どもと大人が協力してごみの減量化やリサイクルの活動を続けられる環境づくり」が伸びており、子どもの頃からの環境教育や環境づくりに加えて、大人としても学ぶ機会が求められていることが見られる結果となった、また、ごみの有料化に対する理解を示す回答の増加が見られたことから、これまでの行政からの説明に対する理解が進んできていると考えられる。

## 7 ごみ処理施設について

本市が四條畷市と共同でごみ処理していることや、ごみ焼却施設の位置に関する認知状況は前回調査から大きく変わらず50%前後であるものの、施設が身近にできたことにより、施設の場所については僅かに上昇する結果となった。

## 8 回答者について

性別は、前回と同様に女性が多いが、前回調査に比べて僅かに男性が増えている。

年齢は、50歳代が最も多く、前回調査に比べて70歳代が増え、前回調査で最も多かった60歳代が減っており、回答者の年齢層が人口ピラミッドの推移に伴い増減している傾向が見て取れ、年齢層ごとの市政に対する意識の違いがあることが考えられる。

## まとめ

アンケートは、環境問題に関する意識から本市の実施する施策まで、幅広い内容で調査を実施した。その結果、意識や行動についての回答において「物質的な豊かさや便利さを失わず」に気軽に取り組めることや、意識はあってもなかなか行動にまで至らない傾向が見られたことなどから、具体的な行動についての周知啓発や参加機会の増加とその周知など、きっかけづくりが課題となることなどがうかがわれた。

また、年齢、性別、世帯構成による情報取得方法の傾向が見られたことから、このような傾向を意識した働きかけを検討する必要があると考えられる結果となった。

## ごみに関する市民アンケートへのご協力をお願い

市民の皆様には、口ごろから本市の環境行政にご理解とご協力をいただき、ありがとうございます。

また、ごみの減量化、リサイクルの推進につきまして、何かとご協力いただきましてありがとうございます。

さて、本市では現在、ごみの減量化とリサイクルを推進し、資源循環型社会の形成を目指す「一般廃棄物(ごみ)処理基本計画」の次期計画に向けた検討を進めているところです。

そこで、市民のみなさまに、ごみ問題に対するお考えや日々の取り組み、本市のごみ処理に関する今後の方向性などについてご意見を伺い、みなさまの声を反映した、よりよい基本計画を策定したいと考えております。

つきましては、ご多忙のこととは存じますが、アンケートの趣旨をご理解の上、ぜひご協力いただきますようお願い申し上げます。

交野市長 黒田 実

### ご記入にあたってのお願い

- ① ご回答は、宛名のご本人が無記名でご記入ください。ただし、何らかの都合で宛名以外の方がお答えいただく場合は、ご記入される方の考えでお答えください。
- ② 選択式の質問については、回答数が限られる場合がありますので、質問ごとの指示にしたがってご回答ください。
- ③ ご回答で「その他」を選ばれた場合は、( ) 内に具体的な内容をご記入ください。
- ④ ご回答いただきましたアンケートは、同封の返信用封筒(切手は不要です)に入れていただき、**8月31日(土)までに** 郵便ポストにご投函ください。
- ⑤ このアンケートに関して不明な点がございましたら、下記までお問い合わせください。

※このアンケート調査は、本市にお住まいの20歳以上の方の中から、無作為に2,000人を選ばせていただき、このアンケート用紙を送付させていただいています。アンケートは、無記名で回答いただきますので、ご回答者が特定されることはありません。また、回答内容は本アンケート以外の目的には一切使用致しません。

#### 【問い合わせ先】

〒576-0041

交野市私部西3丁目3番1号

交野市環境部環境総務課

TEL: 892-0121 FAX: 893-1170

E-mail [kankyou-soumu@city.katano.osaka.jp](mailto:kankyou-soumu@city.katano.osaka.jp)



問1-2 ごみ問題や環境問題に関する情報や知識を 主にどこから得ていますか

- |                     |                     |
|---------------------|---------------------|
| 1 テレビ・ラジオ           | 2 インターネット           |
| 3 新聞                | 4 書籍、雑誌             |
| 5 交野市の広報や回覧板        | 6 友人、知人、家族          |
| 7 地域のコミュニティ誌        | 8 講演会などの催し          |
| 9 職場の機関紙、掲示板、パンフレット | 10 自治会や町内会などの活動を通じて |
| 11 市民団体やサークル活動を通じて  | 12 どこからも得ていない       |
| 13 その他 ( )          |                     |

問1-3 ごみを減らしたり リサイクルをすることで 資源を有効に活用する社会(循環型社会)にしていくことについて どのように思いますか

- 1 現在の生活水準が落ちることにはつながらないため すべきである
- 2 現在の生活水準が多少落ちることになっても すべきである
- 3 物質的な豊かさや便利さを失わず ごみを減らしたり リサイクルを積極的に進めればよい
- 4 天然資源がなくなってくるのであれば 仕方がない
- 5 物質的な豊かさや便利さを失うことであり 受け入れられない
- 6 循環型社会とは、どのような社会なのかよくわからない
- 7 その他 ( )

問1-4 環境保全に関する講演会・催しや植樹・リサイクル活動・美化・清掃活動などに参加したことがありますか

- 1 積極的に参加している
- 2 参加したことはあるが これからは参加したいとは思わない
- 3 これまでに参加したことはないが これからは機会があれば参加したいと思う
- 4 これまでに参加したことはなく これからも参加したいとは思わない
- 5 わからない
- 6 その他 ( )

問1-5 家庭や事業者(外食産業含む)から発生している食品ロス(食べ物の廃棄や食べ残し)が問題となっていることをご存知ですか

- 1 知っており 積極的に対策も行っている  
(対策内容: )
- 2 知っているが 対策はしていない
- 3 これまでに聞いたことはないが これからは対策をしたいと思う
- 4 これまでに聞いたことはなく これからも対策をしようとは思わない
- 5 わからない
- 6 その他 ( )

## 2 ごみの減量や環境を考えた行動について お聞きます

A（いつもやっている）～E（まったくやっていない）・F（わからない）のうち、あてはまるものを1つ選んで○印を付けてください。

### 問2-1 日頃 ごみの「発生抑制（リデュース）」のために心がけていることはありますか

質 問	いつも やって いる	よく やって いる	たまに やって いる	あまり やって ない	まった くやっ てない	わか ら ない
1 使い捨て製品を買わない	A	B	C	D	E	F
2 レジ袋などをもらわないようにしたり（買い物袋持参）簡易包装を店に求めている	A	B	C	D	E	F
3 生ごみを堆肥にしている	A	B	C	D	E	F
4 シャンプーやリンスなど 詰め替え製品を使う	A	B	C	D	E	F
5 マイ箸の携帯など 割り箸を使わないようにしている	A	B	C	D	E	F
ごみを減らすために その他に心がけてい ることがあれば教え てください						

### 問2-2 日頃 ごみや一度使ったものが「再利用（リユース）」されやすいように 心がけていることはありますか

質 問	いつも やって いる	よく やって いる	たまに やって いる	あまり やって ない	まった くやっ てない	わか ら ない
1 びん牛乳やびんビールなど 再利用可能な容器を使った製品を買う	A	B	C	D	E	F
2 友人や知人と不要品をあげたりもらったりする	A	B	C	D	E	F
3 中古品を扱う店やバザーやフリーマーケットを利用している	A	B	C	D	E	F
4 壊れたものは修理して何度も使う	A	B	C	D	E	F
ごみにせずに再利用 するためにその他に 心がけていることが あれば教えてください						

(03)





## 5 ごみの分け方について お聞きします

ごみを資源として集めるためには、ごみを細かく分けて出す必要があります。こうしたごみの分別についてお伺いします。あてはまるものの番号に○印を付けてください。

### 問5-1 あなたの考えに近いものを 1つ選んでください

- 1 分ければ資源なので 細かく分けることは 賛成である
- 2 分け方がわかりやすければ 賛成である
- 3 ごみの収集回数が多くなるのであれば 賛成である
- 4 収集費用のことも考えて 分ける数がちょうど良ければ 賛成である
- 5 現在のままでいいので 反対である
- 6 ごみを出すまで分けて置いておく場所がないので 反対である
- 7 分けて置いておく場所の管理が大変なので 反対である
- 8 分ける数が増えるほど 収集費用がかかるので 反対である
- 9 わからない
- 10 その他 ( )

### 問5-2 次の内知っているものを全て選んでください

- 1 燃やすごみは何曜日に出すかとその出し方
- 2 有料粗大ごみの出し方
- 3 自転車は環境事業所に無料で持ち込める
- 4 なべ やかん フライパンなどは粗大ごみで出す
- 5 ごみを出すことが困難な方のためのもごころダイレクト収集
- 6 市の施設などにライターの回収ボックスがある
- 7 小型家電をパソコンと一緒に出すと宅配業者が無料で引き取りに来るサービスが有る
- 8 有料品目の家電製品でも小型家電回収ボックスに入れることができれば無料になる
- 9 在宅医療廃棄物の個別収集サービス

## 6 行政の施策についてお聞きします

ごみの減量化やリサイクルを市民のみなさんに定着させるためには、行政はどのような対策を行えばよいと思いますか。あてはまるものの番号に○印を付けてください。

### 問6-1 今後の行政の施策として必要だと思うものを全て選んでください

- 1 子どもの頃からごみ問題について環境教育を行い ごみ問題への意識を育む
- 2 大人を対象とした環境学習 広報活動を充実し 市民の意識を高める
- 3 子どもと大人が協力してごみの減量化やリサイクルの活動を続けられる環境づくりを支援する
- 4 事業者と連携して ごみ減量・リサイクルを支援するお店情報を市民に提供する
- 5 ごみ減量化対策として ごみの有料化を進める
- 6 ごみ問題を解決するために 新しく税金を導入する
- 7 行政は さらにごみを分別回収し再生利用する仕組みを整備する
- 8 その他 ( )

問6-2 交野市の一般廃棄物（ごみ）の処理に関する取組み等についてとりまとめた  
交野市一般廃棄物（ごみ）処理基本計画についてご存知ですか

1 知っている

2 知らない

## 7 ごみ処理施設について お聞きします

ごみ処理施設は周辺の人々の協力のうで成り立っています。本市のごみ処理施設について  
ご存じのことをお伺いします。あてはまるものの番号に○印を付けてください

問7-1 本市と四條畷市が ごみ処理を共同で行っていることをご存知ですか

1 知っている

2 知らない

問7-2 現在本市のごみを焼却処理している施設の場所をご存知ですか

1 知っている

2 知らない

問7-3 本市のごみを焼却処理している施設が平成29年に新しく建てられたことをご存知ですか

1 知っている

2 知らない

問7-4 あなたは平成29年まで 本市のごみを焼却処理していた施設の場所をご存知ですか

1 知っている

2 知らない

ごみに関するご意見 ご要望 アイデアなどがありましたら、おきかせください

---

---

---

---

---

---

---

---

※アンケートはこれで終了です。ご協力ありがとうございました。  
ひきつづき、アンケート用紙の返送・回収にもご協力いただきますよう、お願いいたします。  
8月31日(金) までにご投函ください。

## 資料4 ごみ組成調査

### 1 調査実施日及び作業場所

#### (1) 実施日時

令和元年7月16日(火)～17日(水)

#### (2) 作業場所

乙辺浄化センターの旧リサイクルセンター 作業用建物

### 2 調査方法

#### (1) 試料の採取

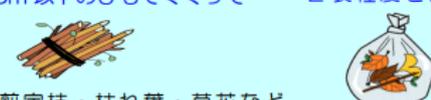
「家庭系可燃ごみ(燃やすごみ)」について、あらかじめ交野市内(以下、「市内」という。)代表地区から交野市様が収集、作業場所まで運搬された試料(ごみ袋)から、約200kgをサンプリングした。サンプリングにあたっては、試料(ごみ袋)をランダムに並べて、ランダムサンプリングとなるように配慮した。

市内の「燃やすごみ」の収集区分は、図4-1のとおりである。



写真 4-1 調査対象試料

＜燃やすごみで排出できる物の一例＞

生ごみ	水切りをして  生ごみ・使用したわりばし・使用した紙コップ・天ぷら油など	固めるか布にしみこませて
剪定枝・草花	1.5m以下のひもでくくって  剪定枝・枯れ葉・草花など	2袋程度を目安に 土をはらって 
衣類・布類	 衣類・ぬいぐるみ・枕など	
皮革製品	金属類をはずして ※はずした部品は粗大ごみ無料  カバン・革の靴・革製のボール・グローブなど	
プラスチック ビニール・ゴム製品 (廃プラは除く)	 弁当箱・CDケース・ビニール靴・ゴムホースなど	
その他	 紙おむつ・汚れの落ちない廃プラ・犬猫の砂・タバコの吸殻・使い捨てライターなど	水にしみこませて 中身を使いきって

### 燃やすごみの出し方（週2回）

生ごみは「水切り」をして。  
  
焼却場の  
焼却効率にご協力を。

木製品などは細かくして  
45リットル以下のポリ袋  
に入れば収集いたします。  
  
袋の口を結び、片手で持てる  
程度の重さにしてください。

**45リットル以下の透明・白色半透明袋に入る可燃ごみは混ぜて排出できます。**



生ごみ  
プラマークのないプラスチック製品  
PET  
汚れの落ちない廃プラごみ  
ゴム製品・布製品・皮革製品  
汚れた紙類

**缶・ビン  
不燃ごみは  
入れないで下さい**



その他の、燃やすごみについては4ページをご覧ください。

図 4-1 燃やすごみの収集区分

## (2) 試料の計量

ごみ袋の開袋・分類の前に、ごみ袋 1 袋ずつの重量を計量・記録した。計量にあたっては、目盛りの読み間違いや測定者による最小目盛りの読み方による誤差をなくす観点から、デジタル式の台ばかりを使用した。

## (3) 分類作業

まず、1 つずつごみ袋を開袋し、粗分別した。粗分別には、コンテナボックスなどを利用した。ただし、厨芥類の調理くず、直接廃棄（手付かず食品）及び食べ残しの判別が明確で、容易に分別できる場合には、この段階で分別した。容器包装、水切りネット等に入っているものはそのまま粗分別した。

粗分別後、表 4-1 に示す 91 項目に分類した。調理くずや食べ残しがレジ袋または水切りネット等に入っている場合、原則として開袋の上、分類して計量し、生ごみが他のごみ（ティッシュペーパーなど）に付着している場合には、できる限り分離した。また、直接廃棄（手付かず食品）のうち、販売時の容器包装（豆腐のパック、パンの袋など）に入っているものについては、開封せずに計量した。

分類後、食品ロスや燃やすごみ以外のごみなど、特徴的なごみについて写真を撮影した。



写真 4-2 作業状況

## (4) 分類後の計量・記録

分類項目ごとに、仕分けたごみの重量を計量・記録した。計量にあたっては、目盛りの読み間違いや測定者による最小目盛りの読み方による誤差をなくす観点から、デジタル式の台ばかりを使用した。なお、厨芥類のうち直接廃棄（手付かず食品）について、賞味期限又は消費期限が記載されている場合は、その年月日も記録した。

### 3 調査結果

#### (1) ごみの種類組成

分類項目別に測定した重量及び重量比の結果を表 4-2 に示す。

重量比で全体の 40.6% を占める厨芥類は、そのほとんどが調理くず (31.7%) で、その多くが水分を含んだ状態のままであった。

紙類は 15.4% を占めており、このうち資源化できる紙製容器包装は 3.9%、古紙は 2.3% あった。

プラスチック類は 13.1% を占めており、このうち資源化できるプラスチック製容器包装やレジ袋が 11.0% であった。容器包装は、汚れが取れないものは燃やすごみとして排出することになっているので、今回の調査でも汚れたものが多くあったが、そもそも洗浄がなされていないものも多くあった。

燃やすごみ以外の混入状況では、ペットフードの缶等の金属類、乾電池、陶磁器などがみられたが、ビンなどガラス類の混入はなかった。

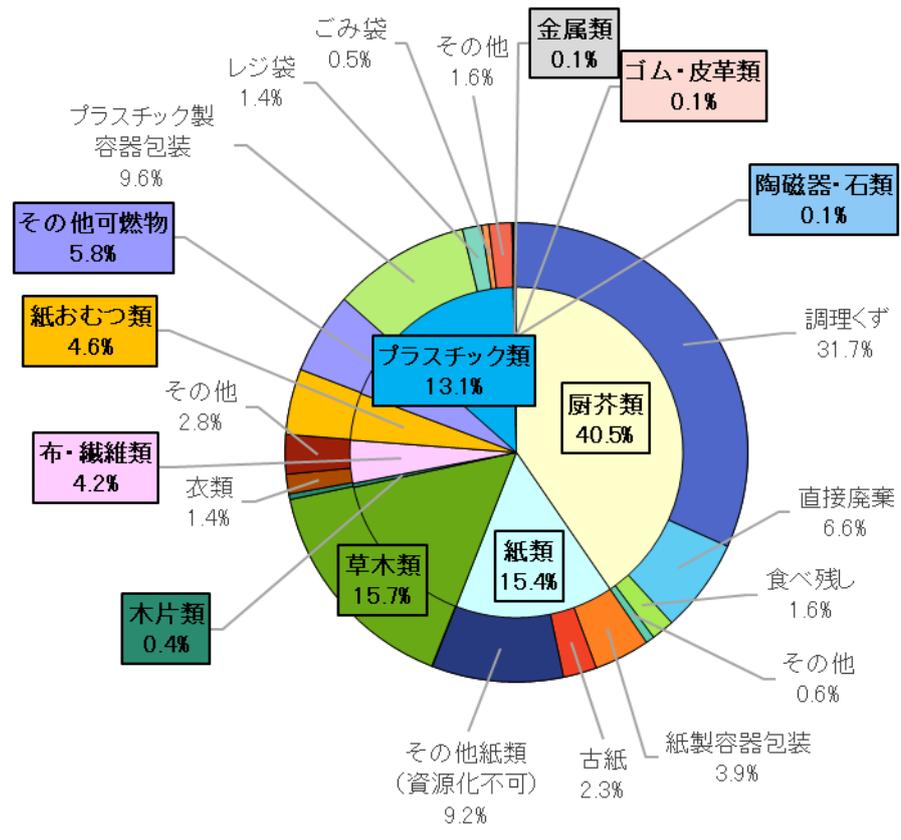


図 4-3 燃やすごみの組成 (重量比)

表 4-2 燃やすごみの組成調査結果

No.	大分類	中分類	小分類	内容(例)	重量(kg)	重量比(%)	
1	厨芥類	調理くず		調理過程から排出された不可食部 例：野菜・果物の皮、くず、芯、魚の骨・内臓、エビの殻、貝の殻、鳥獣の骨、卵の殻、出汁用の昆布など	68.36	31.72	
2		直接廃棄	手付かず食品① (100%残存)	購入後全く手がつけられずに捨てられたもの。 例：野菜、果物、卵、魚介類、肉類、パン類、菓子類、麺類、缶詰・びん詰め、大豆製品(納豆、豆腐)、乳製品(ヨーグルト)、調味料(マヨネーズ、ソース)など	7.84	3.64	
3			手付かず食品② (50%以上残存)	購入後ほとんど手がつけられずに捨てられたもの。上記と同様の品目で、概ね50%以上の原形を残すもの。 例：袋に半分だけ残ったもやし、半分のりんご、容器に半分だけ残ったドレッシング	3.68	1.71	
4			手付かず食品③ (50%未満残存)	購入後一定程度手がつけられて捨てられたもの。上記と同様の品目で、概ね50%未満の原形を残すもの。 例：袋に1/4だけ残ったもやし、1/4のりんご、容器に1/4だけ残ったドレッシング	2.72	1.26	
5			食べ残し		調理され又は生のまま食卓にのぼったもの 例：野菜、果物、卵、魚介類、肉類、パン類、菓子類、麺類など	3.46	1.61
6		その他		生ごみとともに排出され易く、上記に分類されないもの 例：ペットフード、出汁ガラなど	1.31	0.61	
7	紙類	容器包装	段ボール	ボール紙製の緩衝芯のあるもの	—	—	
8			紙バック (アルミコーティング無し)	牛乳、ジュース等	1.32	0.61	
9			紙バック (アルミコーティング有り)	牛乳、ジュース等	0.86	0.40	
10			紙製容器	菓子箱、ボール紙、カップ種のふた等	4.86	2.26	
11			紙製包装	紙袋、包装紙等	1.26	0.58	
12			法対象外容器包装	紙筒、個人包装等	—	—	
13		古紙	新聞紙	丸めたもの、激しく汚れた新聞紙を含む	1.22	0.57	
14			チラシ	折り込み広告等	0.50	0.23	
15			雑誌・書籍	漫画、包装紙	—	—	
16			DM	ダイレクトメール(未開封のみ)	1.46	0.68	
17			その他リサイクル可能な紙	ダイレクトメール(開封済)、1枚ものパンフ、封筒、コピー用紙、メモ用紙、請求書、紙ファイルなどで、名刺大きさ以上を目安	1.88	0.87	
18			その他紙類 (資源化不可)		ティッシュペーパー、写真、感熱紙、カーボン紙、カレンダーコーティング紙等禁忌品、名刺以下の小さな紙、汚れたり濡れたりしたリサイクル不適な紙類	19.84	9.21
19	草木類	生け花		0.10	0.05		
20		剪定枝	草刈りされた草、落ち葉含む	33.64	15.61		
21	木片類	その他	大型木製品	—	—		
22		事業所からの木片類	—	—			
23		その他	その他	0.84	0.39		
24	布・繊維類	衣類	衣服、シャツ	リユース可能な上着、セーター、シャツ、ズボン、スカート等の古着(リユース)やウエス、資源化可能な綿製品(シャツ)。	2.90	1.35	
25			その他	人形、寝具、調度品、かばん、はぎれ、雑巾、シブ、布テープ等	2.42	1.12	
26		大型繊維製品	布団等寝具	3.72	1.73		
27		事業所からの繊維類	—	—			
28		紙おむつ類	紙おむつ類	尿取りパットも含む。単独なら数にパットも入れる。	9.98	4.63	
29	その他可燃物	その他可燃物	ペットシート、吸水樹脂製品(生理用品等)、大型紙製品(衣装ケース等)、事業所からの紙類、シュレッダーくず、犬の糞(包んだ紙ごと)、煙草の吸殻、掃除機のごみ、大型その他可燃製品、事業所からのその他可燃・準可燃	12.42	5.76		
30	プラスチック類	容器包装	ペットボトル	分別収集対象のみ (飲料水、醤油、料理酒、みりん等)	1.36	0.63	
31			プラボトル	収集対象外ペットボトル(ソース等汚れが落ちにくい物)も含む。洗剤等の詰め替え用ペットボトル含む	1.06	0.49	
32			スクイズ、チューブ、スティック容器	マヨネーズ、ケチャップ、歯磨き、カラシ、糊、口紅等の容器	0.50	0.23	
33			白色発泡生鮮食品トレイ	野菜、果物、鮮魚、刺身、精肉用のトレイ	0.10	0.05	
34			その他(柄付き発泡、発泡でない)の生鮮食品トレイ	野菜、果物、鮮魚、刺身、精肉用のトレイ	0.28	0.13	
35			生鮮以外のトレイ、カップ、バック、コップ、台紙付き容器、小型容器(寿司の醤油入れ、フレッシュ、薬カプセルパッケージ等)	宅配用や土産用の発泡製保冷容器も含む、口栓付きパウチ容器含む	4.00	1.86	
36			レジ袋(単体)	レジ袋単体	0.10	0.05	
37			レジ袋(内袋)	ごみを入れる内袋として使用されているレジ袋	2.70	1.25	
38			レジ袋(ごみ袋)	ごみ袋として使用されているもの	0.12	0.06	
39			大型手提げ袋	40cm角以上の大型の手提げ袋。スーパーで使われた場合も含む。	0.54	0.25	
40			ブラ袋	ブラ袋、フィルム、シュリンク包装、シート、ラップ(スーパー・コンビニでの販売用ラップ)	12.62	5.86	
41			その他(法対象)	緩衝材・クッション、その他容器包装(フタ、化粧品容器、吸水シート、ワイシャツの襟サポーター、洋服販売時のハンガー等)	0.29	0.13	
42			法対象外の容器包装	サービス業の袋や容器、ひも、結束テープ、湿布シート、クリーニング店のハンガー等	0.03	0.01	
43			ごみ袋	ごみ袋として使用されているもの、使用されたもの	1.06	0.49	
44			その他	その他(小型成型品等小さな雑プラスチック含む)	洗面器、食器、歯ブラシ、おもちゃ、商品のハンガー等、家庭用ラップ含む	3.46	1.61
45				使い捨てライター	使い捨てライター	0.02	0.01
46	注射容器等危険物	—		—			
47	その他(大型成型品等)	大きすぎてごみ袋からはみ出た製品、長尺物		—	—		
48	事業所からのプラスチック	—		—			
49	ガラス類	容器包装		無色雑ビン	—	—	
50				茶色雑ビン	—	—	
51				その他色雑ビン	—	—	
52			リターナブルビン	一升ビン、ビールビン等	—	—	
53			資源回収不適ビン	薬品、化粧品のビン等	—	—	
54		その他	電球類	—	—		
55			その他(コップ、灰皿等)	—	—		
56			LED電球	—	—		
57			大型ガラス製品(人形ケース等)	—	—		
58			事業所からのガラス類	—	—		
59	金属類	容器包装	飲料水の缶	スチール缶	—	—	
60			缶詰、缶箱	アルミ缶	—	—	
61			缶詰、缶箱	スチール缶	—	—	
62			缶詰、缶箱	アルミ缶	—	—	
63			ペットフード等の缶詰、缶箱	スチール缶	—	—	
64			缶詰、缶箱	アルミ缶	0.01	0.01	
65			二斗缶	—	—		
66			スプレー缶	簡易ガスボンベ(穴あき)	—	—	
67			簡易ガスボンベ(穴無し中身残存)	—	—		
68			簡易ガスボンベ(穴無し中身無し)	—	—		
69			スプレー缶(穴あき)	—	—		
70			スプレー缶(穴無し中身残存)	—	—		
71			スプレー缶(穴無し中身無し)	—	—		
72		その他	アルミトレイ、王冠、フタ、リップ、チューブ等	0.04	0.02		
73		その他	単一金属製品	なべ、釜、食器、包丁、クリップ等(柄やフタのつまみの部分等がプラ等の複合物も含む)	0.12	0.06	
74			大型単一製品	—	—		
75			複合金属製品	小型家電、充電器等付属品、家電製品のコード等	—	—	
76			かさ、ハンガー、工事用電線等(リサイクル不適)	—	—		
77			大型複合製品(大きすぎてごみ袋からはみ出た製品、長尺物)	—	—		
78			危険物(カミソリ等)	包丁、はさみ含む	—	—	
79			使い捨てカイロ	使い捨てカイロ	—	—	
80			その他	レンジカバー、アルミホイール等	0.14	0.06	
81			事業所からの金属類	—	—		
82	有害ごみ		蛍光灯	—	—		
83		体温計、温度計	—	—			
84	乾電池	乾電池	—	—			
85	ゴム・皮革類	ゴム・皮革類	輪ゴム、ゴム手袋、運動靴、長靴、革製靴、ベルト	—	—		
86			大型ゴム、革製品	—	—		
87			事業所からのゴム、皮革類	—	—		
88	医療系廃棄物	医療系廃棄物	—	—			
89	土砂、残土、灰	土砂、残土、灰	—	—			
90	陶磁器・石類	陶磁器・石類	—	—			
91	その他不燃物	その他不燃物	大型その他不燃製品(土が詰まった大きな植木鉢等)、事業所からのその他不燃物	—	—		
合計					215.49	100.00	

## (2) 特徴的なごみについて

### ア 食品ロス

家庭からの食品廃棄物は、主に調理時に廃棄される不可食部（調理くず）、購入後ほとんど手をつけずに捨てられた直接廃棄（手付かず食品）、調理されまたは生のまま食卓にのぼったものの食べ残されて捨てられた食べ残しの3つに分類される。このうち、直接廃棄（手付かず食品）及び食べ残しが食品ロスとなる。今回の調査では、直接廃棄（手付かず食品）は、全く手が付けられていないもの（100%残存）と少し手が付けられているもの（50%以上残存、50%未満残存）の3つに分けて記録した。

厨芥類の細組成調査結果を表4-3に、厨芥類の細組成（重量比）を図4-4に示す。また、直接廃棄（手付かず食品）の賞味期限又は消費期限を表3-3に示す。なお、厨芥類の分類状況は、写真4-3のとおりである。

食品ロスの合計は、17.70kg（厨芥類の20.3%）であった。内訳は、100%残存の手付かず食品①が7.84kg（9.0%）、50%以上残存の手付かず食品②が3.68kg（4.2%）、50%未満残存の手付かず食品③が2.72kg（3.1%）、食べ残しが3.46kg（4.0%）であった。手付かず食品①では野菜・果物が多く、肉類・加工肉等もみられた。手付かず食品②では野菜・果物のほか、麺類、菓子類がみられた。手付かず食品③では、野菜、食パン、弁当・惣菜類がみられた。このうち、消費・賞味期限内に排出されたものは、手付かず食品①では調味料類、手付かず食品②では菓子類であった。

表4-3 厨芥類の細組成調査結果

大分類	中分類	小分類	重量 (kg)	重量比 (%)
厨芥類	調理くず		68.36	78.2
	直接廃棄	手付かず食品① (100%残存)	7.84	9.0
		手付かず食品② (50%以上残存)	3.68	4.2
		手付かず食品③ (50%未満残存)	2.72	3.1
	食べ残し		3.46	4.0
	その他		1.31	1.5
合計			87.37	100.0

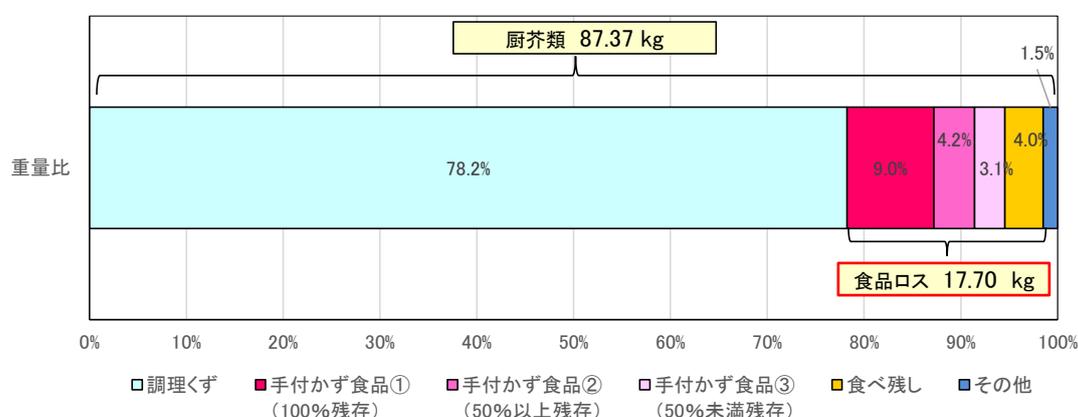


図4-4 厨芥類の細組成（重量比）

表 4-4 直接廃棄（手付かず食品）の消費・賞味期限

小分類	食品名	消費期限	賞味期限	備考	
手付かず食品① (100%残存)	ホットケーキミックス		19.02.15	期限切れ	
	ドリップコーヒー (2個)		19.03.15		
	ドリップコーヒー (2個)		19.05		
	ドリップコーヒー		19.06		
	ボロニアソーセージ		19.06.02		
	プレミアムもずく		19.06.22		
	茶碗蒸し (2個)		19.06.26		
	彩り野菜ミックス	19.07.01			
	ロースハム	19.07.02			
	黒毛和牛バラスライス	19.07.05			
	焼プリン		19.07.05		
	ロースハム	19.07.06			
	豆腐		19.07.09		
	セロリの浅漬け		19.07.10		
	マルアジ切身	19.07.13			
	納豆		19.07.14		
	コーンたっぷりミニサラダ	19.07.14			
	辛子明太子おにぎり	19.07.14			
	ドリップコーヒー		19.07		期限内
	チョコチップ		19.09		
おろしわさび生		19.11.04			
マヨネーズ 5g		19.11.06			
ステーキーズニング		20.05.14			
手付かず食品② (50%以上残存)	だったん蕎麦		18.06.14	期限切れ	
	コチュジャンだれ		19.04.26		
	柿安		19.05		
	焼きそば		19.07.07		
	冷し中華		19.07.13		
	菓子パン	19.07.16		期限内	
	胡麻スティックビスケット		19.11.06		
	グミ		20.04		
手付かず食品③ (50%未満残存)	食パン	19.05.07		期限切れ	
	キムチ		19.06.06		
	巻寿司	19.07.10			
	おはぎ	19.07.10			
	おかずセット	19.07.12			
	食パン	19.07.13			
	弁当	19.07.13			
	サンドイッチ	19.07.13			
サラダ	19.07.13				

注：1. 消費期限は「安全に食べられる期限」で品質が急速に劣化しやすい食品に、賞味期限は「品質が変わらず食べられる期限」で比較的品质が劣化しにくい食品に表示される。

2. 備考欄は、ごみ収集日（7月16日）時点において、期限が切れているか否かで分類した。



調理くず



手付かず食品① (100%残存)



手付かず食品② (50%以上残存)



手付かず食品③ (50%未満残存)



食べ残し



その他

写真 4-3 厨芥類の分類状況

## イ 特徴的なごみ

特徴的なごみの写真を、写真 4-4 に示す。

燃やすごみで特徴的なものとして、重量比で調理くずに次いで 2 番目となった剪定枝（草刈りされた草）と、布・繊維類の大型繊維製品がみられた。

一方、燃やすごみ以外のごみでは、缶等の金属類、乾電池、陶磁器などがみられた。

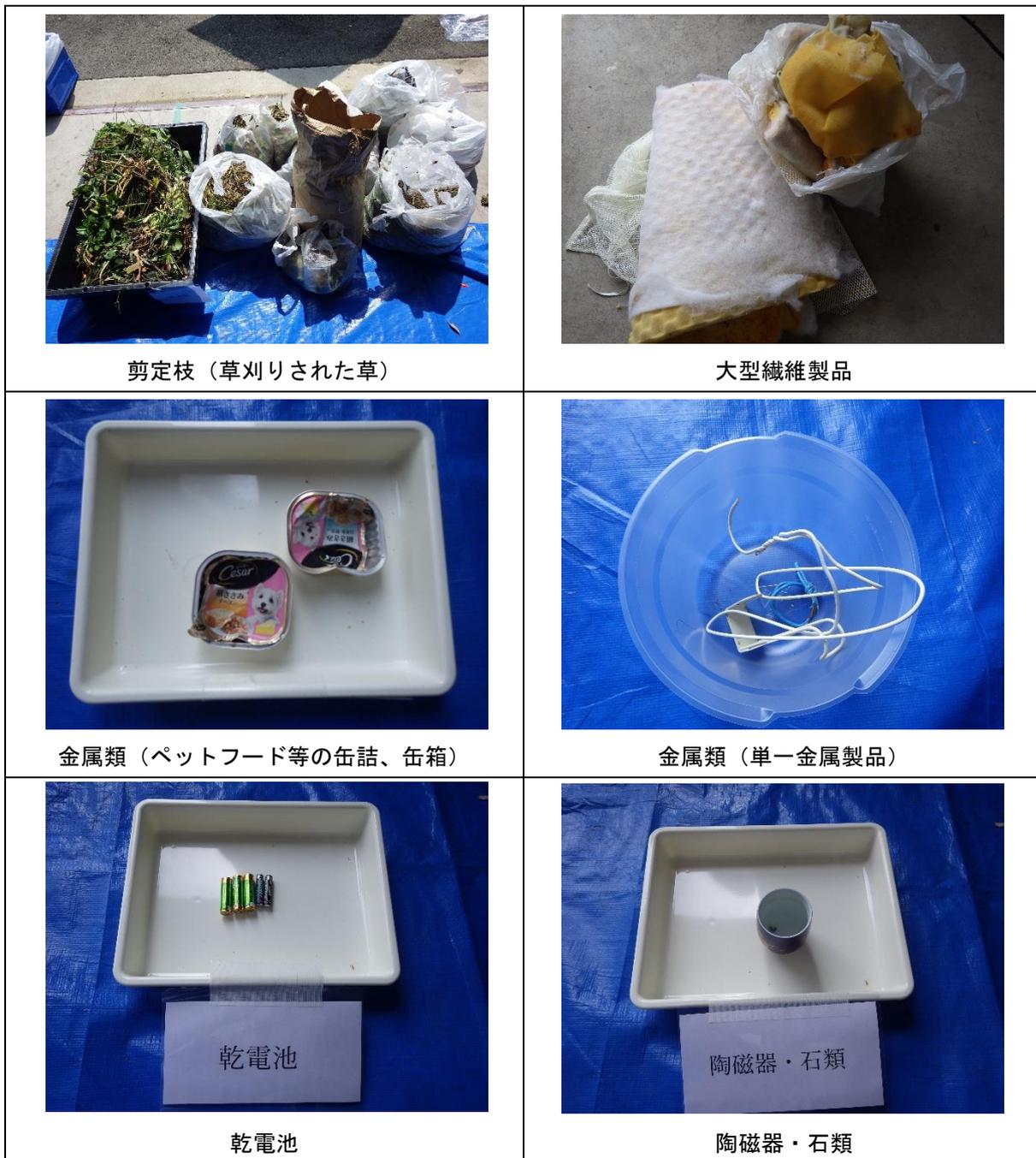


写真 4-4 特徴的なごみ

学識経験者 【交野市環境審議会条例 第3条第2項第1号に係る委員】

所	属	役 職	氏 名
摂南大学	理工学部 生命科学科	教 授	青 笹 治
大阪市立大学	大学院 理学研究科	准 教 授	植 松 千 代 美

関係行政機関の職員 【交野市環境審議会条例 第3条第2項第2号に係る委員】

所	属	役 職	氏 名
大阪府中部農と緑の総合事務所	みどり環境課	課 長	澤 田 武 男
大阪府四條畷保健所	衛生課	課 長	竹 元 晶 子

その他市長が適当と認めるもの 【交野市環境審議会条例 第3条第2項第3号に係る委員】

(各団体からの推薦者)

所	属	役 職	氏 名
北大阪商工会議所		交 野 支 所 長	畑 和 美
交野市工業会		理 事	田 中 茂 年
交野市商業連合会		会 長	西 川 登 志 雄
一般社団法人交野市医師会		会 長	波 戸 良 光
交野市PTA協議会		会 長	和 田 卓 也
交野里山ゆうゆう会		会 長	奥 田 中
交野市消費生活問題研究会		会 長	代 永 京
交野市環境基本計画推進会議		代 表	玉 井 八 恵 子



交環総第17号

令和元年11月13日

交野市環境審議会  
会長様

交野市長 黒田



交野市一般廃棄物(ごみ)処理基本計画について(諮問)

標記の件について、交野市環境審議会設置条例第2条に基づき、諮問します。  
別紙の諮問趣旨に沿い、調査審議の上、答申をお願いします。

## 諮問趣旨

市町村は、廃棄物の処理及び清掃に関する法律（昭和45年法律第137号）の規定に基づき、区域内の一般廃棄物を管理し、適正な処理を確保するための計画を定めなければならないとされています。

本市では、平成20年3月に「交野市一般廃棄物（ごみ）処理基本計画」を策定し、「4R（リフューズ：断る、リデュース：発生抑制、リユース：再利用、リサイクル：再生使用）」の推進を基本理念に掲げ、4Rの推進、市民・事業者・行政の協働による廃棄物の減量化と、循環型社会の推進に努めて参りました。

また近年では、本市と四條畷市で構成する四條畷市交野市清掃施設組合が運営しているごみ処理施設が老朽化していたことから、本市の私市地区に熱回収施設とリサイクル施設を備えた新しい施設を建設し、平成29年10月からはこの施設の運転開始に伴い、ごみの排出区分の変更と粗大ごみの一部有料化を行いました。

つきましては、こうした状況の変化を踏まえ、本市の廃棄物処理を取り巻く環境の変化や課題を整理し、今後10ヵ年における発生抑制、再資源化及び適正処理に対応するため策定する計画について、貴審議会の意見を求めるものです。